



## InSight<sup>®</sup> FD ミニCアーム画像診断装置

ユーザーガイド

MAN-05288-1202 改訂 006



# InSight<sup>®</sup>-FD

ミニ C アーム画像診断装置

## ユーザーガイド

部品番号 : MAN-05288-1202

改訂 006

7月 2021

**HOLOGIC<sup>®</sup>**

注意：米国連邦法により、本装置の販売は医師（または適切な免許を取得して開業医）による注文または指示がある場合に限定されます。

## カスタマー サポート

フリーダイヤル（米国）： +1.800.321.4659

Email: [SkeletalHealth.Support@hologic.com](mailto:SkeletalHealth.Support@hologic.com)

ヨーロッパ、南米、アジアのお客様は、現地の販売代理店または取扱店にお問い合わせください。

© 2019 - 2021 Hologic, Inc. Printed in the USA. このマニュアルの原文は英語です。

Hologic、Fluoroscan、InSight、MegaView は、米国および/またはその他の国における Hologic, Inc. および/またはその子会社の商標および/または登録商標です。本書に記述のあるその他の製品名および会社名は、それぞれの所有者の商標です。

本製品は [www.Hologic.com/patent-information](http://www.Hologic.com/patent-information) に示すとおり、米国または国外の複数の特許によって保護されています。

# 目次

<b>1 適応</b> .....	<b>1</b>
1.1 基本性能 .....	1
1.2 保証 .....	2
1.3 ユーザープロファイル .....	2
1.3.1 教育 .....	2
1.3.2 知識 .....	2
1.3.3 経験 .....	2
1.3.4 許容される障害 .....	3
<b>2 放射線の安全性</b> .....	<b>3</b>
2.1 全般 .....	3
2.2 被曝線量と線量率 .....	3
2.3 X 線防護 .....	4
<b>3 X 線装置に対する規制</b> .....	<b>4</b>
3.1 米国連邦規制および州規制 .....	4
3.2 EC 規格 .....	4
3.3 カナダの規制 .....	4
<b>4 EMI</b> .....	<b>5</b>
<b>5 サイバーセキュリティ</b> .....	<b>5</b>
<b>6 アクセサリ</b> .....	<b>5</b>
<b>7 マニュアルの入手方法</b> .....	<b>5</b>
<b>8 用語と定義</b> .....	<b>6</b>
<b>9 InSight-FD のシステムラベル</b> .....	<b>8</b>
9.1 システムメインラベル .....	8
9.2 X 線システム警告ラベル .....	9
9.3 感電警告ラベル .....	9
9.4 押し移動禁止警告ラベル .....	10
9.5 ISO 7010-M002 ラベル .....	10
9.6 視野 .....	10
<b>10 安全上の問題</b> .....	<b>13</b>
<b>11 システム構成部品</b> .....	<b>19</b>
<b>12 操作ボタンおよびインジケータ</b> .....	<b>20</b>
12.1 X 線ヘッド制御パネル .....	20
12.2 キーボード操作 .....	22

---

<b>13 InSight-FD 20cm SSD コーン</b> の取り付け方法 .....	<b>24</b>
13.1 処置 .....	24
13.2 InSight-FD システムフットスイッチ機能 .....	27
13.2.1 X 線画像の取り込み .....	28
13.2.2 MegaView 画像の表示 .....	28
13.2.3 画像のタグ付け .....	28
13.2.4 画像の保存 .....	29
13.2.5 画像の印刷 .....	29
13.2.6 保管 .....	29
<b>14 システムの使用</b> .....	<b>30</b>
14.1 システムの移動 .....	30
14.2 C アームの調整 .....	32
14.3 滅菌 C アームドレープ .....	33
14.4 システムを起動する .....	34
14.5 システムをシャットダウンする .....	35
<b>15 アプリケーションの設定</b> .....	<b>36</b>
15.1 System Configuration (システム設定) ユーザーインターフェイス .....	36
15.2 システム .....	36
15.3 DICOM 送信のオプション .....	39
15.3.1 DICOM 印刷オプション .....	41
15.4 ワークリスト設定 .....	43
15.4.1 Users (ユーザー) .....	45
15.5 Physician Preferences (医師の設定) .....	46
15.6 Physician Preferences (医師の設定) – Image Acquisition (画像の取り込み) .....	48
15.7 Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理) .....	51
15.8 Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理) .....	54
15.9 Administrative Settings (管理者設定) ページ .....	55
<b>16 アプリケーションの使用</b> .....	<b>57</b>
16.1 患者の位置決め .....	57
16.2 Main (メイン) 画面 .....	58
16.3 X 線ヘッド制御パネル .....	62
16.4 画像の取り込みセッション .....	64
16.4.1 Select or Enter Patient (患者の選択または入力) ウィンドウ .....	64
16.4.2 Image Acquisition (画像の取り込み) 画面 .....	66
16.4.3 フィルムストリップの記号 .....	68
16.4.4 Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ .....	74
16.5 Review Images Session (画像セッションのレビュー) .....	75
16.5.1 [Select Study for Review] (レビューする検査を選択) ウィンドウ .....	75
16.5.2 レビュー画面 .....	78
16.5.3 Enhanced Displayed Image (画像のエンハンス表示) 画面 .....	81

---

---

16.6 患者の検査レコードの運用 .....	82
16.6.1 [Update Patient Study Information] (患者の検査情報の更新) ウィンドウ .....	82
16.7 Export Images (画像のエクスポート) .....	84
16.7.1 [Review Images] (画像のレビュー) 画面からエクスポート .....	84
16.7.2 [Review Images] (画像のレビュー) 画面からエクスポート .....	86
16.8 Import Images (画像のインポート) ウィンドウ .....	88
16.9 ワークリストのエントリ .....	91
16.9.1 オプション 1、[Tools] (ツール) のサブメニュー .....	91
16.9.2 オプション 2、[Patient Information] (患者情報) 画面 .....	91
16.10 Delete Images (画像の削除) ウィンドウ .....	91
16.11 View DICOM Queue (DICOM キューの表示) ウィンドウ .....	93
<b>17 システムのメンテナンス .....</b>	<b>95</b>
17.1 システムバックアップ .....	95
17.2 システム復旧 .....	95
17.3 クリーニング .....	95
17.3.1 推奨される消毒剤 .....	95
17.4 予防保守 .....	96
17.5 トラブルシューティング .....	96
17.6 廃棄 .....	96

## 図一覧

図 1: InSight-FD ミニ C アーム .....	1
図 2: システムメインラベル .....	8
図 3: X 線システム警告 .....	9
図 4: 感電警告 .....	9
図 5: 押し移動禁止警告ラベル * .....	10
図 6: ISO 7010-M002 ラベル .....	10
図 7: 視野 .....	11
図 8: C アームの回転 .....	25
図 9: コーンの向きの調整 .....	26
図 10: ワイヤレスフットスイッチ .....	27
図 11: フットスイッチの保管 .....	29
図 12: ブラケットに置かれたフットスイッチ .....	30
図 13: 下向きにしたキーボード .....	31
図 14: 移動位置の C アーム .....	31
図 15: キャスター後輪 .....	32
図 16: C アームの調整 .....	33
図 17: 滅菌 C アームドレープ .....	34
図 18: System Configuration メニュー .....	36
図 19: システム .....	37
図 20: DICOM 送信のオプション .....	39
図 21: DICOM Print Options (DICOM 印刷オプション) .....	41
図 22: ワークリスト設定 .....	43
図 23: Users (ユーザー) .....	45
図 24: Physician Preferences (医師の設定) – Image Acquisition (画像の取り込み) ...	48
図 25: Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理) .....	51
図 26: Physician Preferences (医師の設定) – Image Processing (画像の処理) .....	54
図 27: Main (メイン) 画面 .....	58
図 28: System Configuration (システム設定) プルダウンメニュー .....	59
図 29: Tools (ツール) プルダウンメニュー .....	60
図 30: Select or Enter Patient (患者の選択または入力) ウィンドウ .....	64



---

図 31: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面 .....	66
図 32: Image Effects (画像の効果) メニュー .....	67
図 33: フィルムストリップの記号 .....	68
図 34: Configure Image Area (画像エリアの設定) メニュー .....	69
図 35: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン .....	70
図 36: Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ .....	74
図 37: Study for Review (レビューする検査) .....	76
図 38: Review Images (画像のレビュー) 画面 .....	78
図 39: Patient Details (患者の詳細) .....	80
図 40: 予測の詳細 .....	81
図 41: Enhanced Displayed Image (画像のエンハンス表示) 画面 .....	81
図 42: [Update Patient Study Information] (患者の検査情報の更新) ウィンドウ .....	83
図 43: [Review] (レビュー) 画面からの画像のエクスポート .....	85
図 44: Export Images (画像のエクスポート) パネル .....	85
図 45: [Tools] (ツール) メニューの [Export] (エクスポート) .....	86
図 46: [Tools] (ツール) メニューの [Export Images] (画像のエクスポート) .....	86
図 47: Tools (ツール) メニュー .....	89
図 48: Import Images (画像のインポート) ウィンドウ .....	89
図 49: Delete Images (画像の削除) .....	91
図 50: 削除する画像を選択 .....	92
図 51: View DICOM Queue (DICOM キューの表示) .....	93

## 表一覧

表 1: 用語と定義 .....	6
表 2: 記号 .....	7
表 3: 記号 .....	11
表 4: 安全上の問題 .....	13
表 5: X線ヘッド制御パネル .....	20
表 6: キーボード操作 .....	22
表 7: 部品リスト .....	24
表 8: フットスイッチペダルの機能 .....	27
表 9: 調整スケジュール .....	35
表 10: System Configuration (システム設定) ユーザーインターフェイス .....	36
表 11: System ページ .....	37
表 12: DICOM Send Options ページ .....	39
表 13: DICOM Send Options (DICOM 送信オプション) ページ、ボタンの機能 .....	40
表 14: DICOM Print Options (DICOM 印刷オプション) ページ、選択 / フィールドの説明 .....	41
表 15: DICOM 印刷オプションページ、ボタンの機能 .....	42
表 16: Worklist Configuration (ワークリスト設定)、セクションの説明 .....	43
表 17: Worklist Configuration (ワークリスト設定)、ボタンの機能 .....	44
表 18: Users (ユーザー) ページ、セクション / フィールドの説明 .....	45
表 19: Users (ユーザー) ページ、ボタンの機能 .....	46
表 20: Physician Preferences (医師の設定)、セクション / フィールドの説明 .....	46
表 21: Physician Preferences (医師の設定)、ボタンの機能 .....	47
表 22: Physician Preferences (医師の設定)、Image Acquisition (画像の取り込み) タブ、セクション / フィールドの説明 .....	48
表 23: Physician Preferences (医師の設定)、Image Processing (画像処理) タブ、セクション / フィールドの説明 .....	52
表 24: Physician Preferences (医師の設定)、Image Management (画像管理) タブ、セクション / フィールドの説明 .....	55
表 25: 管理者設定、セクションの説明 .....	55
表 26: Administrative Settings (管理者設定)、ボタンの機能 .....	56
表 27: Main (メイン) 画面のオプション .....	58

表 28: システム設定メニュー .....	59
表 29: Tools (ツール) メニュー .....	61
表 30: X 線ヘッド制御パネル .....	62
表 31: Select or Enter Patient (患者の選択または入力) ウィンドウ、セクション / フィールドの説明 .....	65
表 32: Select or Enter Patient (患者の選択または入力) ウィンドウ、ボタンの機能 ....	65
表 33: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面 .....	66
表 34: Image Effects (画像の効果) メニュー .....	67
表 35: フィルムストリップの記号 .....	69
表 36: Configure Image Area (画像エリアの設定) メニュー .....	69
表 37: Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン、ボタンの機能 .....	70
表 38: ツールセット .....	73
表 39: Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ、セクションの説明 ....	75
表 40: Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ、ボタンの機能 .....	75
表 41: [Study for Review] ウィンドウ、セクション / フィールドの説明 .....	76
表 42: Select Study for Review (レビューする検査を選択) ウィンドウ、ボタンの機能 . 77	
表 43: Review (レビュー) 画面、ボタンの機能 .....	78
表 44: Detailed Image Viewing (画像の詳細表示) 画面、ボタンの機能 .....	82
表 45: [Update Patient Study Information] (患者の検査情報の更新) ウィンドウ、セク ションの説明 .....	83
表 46: [Update Patient/Study Information] (患者 / 検査情報の更新) ウィンドウ、ボタ ンの機能 .....	84
表 47: Export (エクスポート) ウィンドウ、セクションの説明 .....	87
表 48: [Export] ウィンドウ、ボタンの機能 .....	88
表 49: [Import] (インポート) ウィンドウ、セクションの説明 .....	90
表 50: [Import] (インポート) ウィンドウ、ボタンの機能 .....	90
表 51: Delete Images (画像の削除) ウィンドウ、セクションの説明 .....	92
表 52: Delete Images (画像の削除) ウィンドウ、ボタンの機能 .....	93
表 53: Queue (キュー) ウィンドウ、セクションの説明、ボタンの機能 .....	94
表 54: 推奨されるウエス .....	95
表 55: 推奨される化学物質 .....	96



# 1 適応

InSight™-FD システムは、整形外科や足病科、救命救急治療、光学解剖画像撮影などにおいて、患者の透視画像全般を扱う医師をサポートするミニ C アーム透視画像診断装置です。

図 1 InSight-FD ミニ C アーム



## 1.1 基本性能

InSight-FD システムは、患者の四肢の診断、治療、外科処置において安全かつ効率的に透視画像を撮影できる、移動可能なミニ C アームシステムです。

## 1.2 保証

同意書に別段の定めがない限り：i) Hologic の製造した装置は、製品を購入した元のお客様の場合に限り、製品出荷日より、または設置が必要な場合は設置日より 1 年間、発行された製品仕様書に従って十分な機能を果たすことが保証されます（「保証期間」）。ii) デジタル画像 X 線チューブは 24ヶ月間保証されます。X 線チューブは最初の 12ヶ月は完全保証の対象となり、続く 13～24ヶ月は減価償却日割り計算で保証されます。iii) 交換部品および再製造された物は保証期間の残りまたは出荷後 90 日のいずれか長い期間保証されます。iv) 消耗供給品はそれぞれの包装に記載された期限まで、発行された仕様書に従って十分な機能を果たすことが保証されます。v) ライセンス化されているソフトウェアは、発行された仕様書に従って保証されます。vi) サービスは望ましい作業レベルが供給されることが保証されます。vii) Hologic の製造していない装置は、そのメーカー経由で保証され、そのような Hologic 以外の装置のメーカーが許容する保証が Hologic の顧客に適用されます。Hologic はその製品が中断することなくまたはエラーなしで使用できること、または製品を Hologic が認可していない他社製品とともに使用した場合の性能を保証するものではありません。

以上の保証の適用対象外となるのは、(a) Hologic の認可したサービススタッフ以外の者によって修理、移動、もしくは変更された製品、(b) 物理的（熱的、電氣的など）な酷使、圧力、もしくは誤用にさらされた製品、(c) Hologic の関連規定もしくは関連指示に反する方法（Hologic の推奨するソフトウェアアップグレードをお客様が拒否した場合など）で保管、保持、もしくは操作された製品、または (d) Hologic 以外による保証を前提とした提供、事前公開版としての提供、もしくは「現状のまま」での提供が指定された製品です。

## 1.3 ユーザープロファイル

InSight 平面検出器のユーザーには、透視検査について最低限のトレーニングを受けた、滅菌エリアおよび非滅菌エリアの看護師、放射線技師やその他の技師、医師や外科医が含まれることが想定されています。

### 1.3.1 教育

- 准学士号もしくは相当の放射線技師免許を最低限とする
- 上限はなし

### 1.3.2 知識

- 最低限  
InSight 平面検出器のユーザーマニュアルを読んで理解する  
基本的なコンピュータの知識
- 上限はなし

### 1.3.3 経験

- 最低限  
特別な経験は不要
- 上限はなし

### 1.3.4 許容される障害

- 中等度の近方視力障害、または矯正視力 MAR 0.2 (6/10 または 20/32)
- 平均的な加齢性の短期記憶低下
- 500Hz から 2 kHz で通常聴覚の 60% (40% の欠落)

## 2 放射線の安全性

撮影手順が不適切である場合、または放射線の安全性や技術的係数に関する推奨事項の確認を怠った場合、被曝線量の増加につながるおそれがあります。安全のためのあらゆる手順を確認し、放射線被曝を合理的に可能な限り低減し (ALARA)、かつ国家、州、地方自治体のあらゆる規制に準拠する責任は、オペレータが負うものとします。

Hologic では、操作スタッフ全員が放射線監視装置を着用することを推奨しています。特定の期間の被曝線量を記録するフィルムバッジや、TLD (熱ルミネセンス線量測定) 測定器が一般的です。医師は、手への被曝を記録するリングバッジを装着するようにしてください。

### 2.1 全般

被写体をリアルタイムで表示するため、透視装置は X 線ビームを連続的に放出しています。

X 線源と検出画面との間には、常に一次放射線が存在します。オペレータは絶対にビーム内に手を入れないでください。

一次ビーム内に置かれた被写体を完全に透過しなかった X 線は、二次放射線または散乱 X 線となります。散乱 X 線は一次ビームよりエネルギーが少なく、近くにある他の物体に吸収されると考えられています。散乱の量は、出力設定、ビームを当てる部位の密度や近さ、そして被曝時間の長さによって左右されます。

### 2.2 被曝線量と線量率

患者の体 1 キログラムあたりが受ける放射線を、**被曝線量**と呼びます。**線量率**は、単位時間あたりに受ける被曝線量を指す言葉です。

X 線源から離れると、患者やオペレータへの被曝線量を減らすことができます。たとえば、最大出力にした場合の画像レセプタでの線量は毎分 2.6mGy ですが、チューブハウジング出力ポートでの線量は毎分 45 mGy となります。これは画像レセプタにおける線量の 17 倍にあたります。この高い値を、**最大入射線量率 (EER)**と呼びます。

前述した一次ビームの X 線と同様に、散乱した放射線は距離の二乗で減衰します。ただし線量率がかなり低くなるため、散乱は通常 mR/h で表します (1 mR=0.01mGy)。

InSight-FD システムの線量および散乱データをご希望の場合は、Hologic までお問い合わせください。

### 2.3 X線防護

InSight-FD システムからの散乱放射線は一般的な放射線装置と比べて少ないため、防護用の鉛エプロンや防護手袋の着用義務の有無は、適用される施設の方針によって決まります。また、稼働中の透視装置と同室にいるスタッフに鉛エプロンの着用を義務づけている州、省、国、施設も数多くあります。人体暴露を減らすには、安全な操作方法をしっかり把握し、透視回数を最低限にすることが重要です。

## 3 X線装置に対する規制

### 3.1 米国連邦規制および州規制

InSight-FD ミニ C アーム画像診断装置は、米国連邦規制集 21 CFR 1020.32、「Performance Standards for Ionizing Radiation Emitting Products:Fluoroscopic Equipment（電離放射線放出製品の性能基準：透視装置）」に準拠しています。ただし、X線製品には別の州規制が適用される場合があります。場合によっては、州規制当局に設置の事実やオペレータの研修および認証について通知する必要があります。

X線装置の設置と使用に関する州規制に準拠して設置を行った旨を、管轄州の放射線管理当局に報告することはユーザーの責任となります。

InSight-FD ミニ C アーム画像診断装置は、21CFR サブチャプタ J に準拠しています。

InSight-FD ミニ C アーム画像診断装置は、21CFR 1020.32 (g) で指定されている線源皮膚間距離 (SSD) では禁止されていますが、21CFR 1020.32 (g) (2) では許可されています。SSD は最短で 10cm です。

### 3.2 EC 規格

InSight-FD ミニ C アーム画像診断装置は、IEC 60601-1 の要件に準拠しています。この規格では、InSight-FD ミニ C アーム画像診断装置はクラス 1、タイプ B に分類されます。

InSight-FD ミニ C アーム画像診断装置は、以下の IEC 規格に準拠しています。

IEC/EN 60601-1:2006    IEC/EN 60601-2-28:2010    IEC/EN 60601-2-54:2009

IEC/EN 60601-1-2:2007    IEC/EN 60601-1-3:2008

### 3.3 カナダの規制

InSight-FD ミニ C アーム画像診断装置は、CAN/CSA-C22.2 No. 60601-1:08 に準拠しています。



## 4 EMI

本装置は、IEC60601-1-2 で指定されている電磁環境に対応した設計であるため、同規格に準拠する他の装置と同じ環境に設置しても支障なく使用できます。InSight-FD ミニ C アーム画像診断装置を使用している環境に、電磁的に対応していない装置を設置すると、InSight-FD ミニ C アーム画像診断装置と非準拠装置の両方が不具合を起こすか、異常な動作をするおそれがあります。該当分野のサービスエンジニアにご相談ください。

## 5 サイバーセキュリティ

Hologic では、コンピュータおよびネットワークセキュリティの現状を継続的に確認し、セキュリティ上の問題が発生する可能性がないか調べています。Hologic は、必要に応じて製品のアップデートを提供しています。

サイバーセキュリティ関連の情報は、次の文書を参照してください。

- MAN-00734 InSight Cybersecurity Best Practices (InSight サイバーセキュリティベストプラクティス)
- MAN-00664 InSight Cyber-Security Product Report (InSight サイバーセキュリティ製品レポート)

これらの文書は、Hologic, Inc. のウェブサイトから入手できます。

<http://www.hologic.com/support/fluoroscanner-mini-c-arm>

## 6 アクセサリ

本装置には、安全かつ信頼性のある操作に欠かせないハードウェアおよびソフトウェア用アクセサリをご用意しています。追加アクセサリは、オプションとなっている操作で使用できません。Hologic が認可していないアクセサリを、本装置に使用しないでください。

## 7 マニュアルの入手方法

ユーザーガイドやサービスマニュアルの PDF ファイルは、サポートページ ([www.Hologic.com](http://www.Hologic.com)) から入手できます。

PDF ファイルを表示するには、Adobe Acrobat Reader バージョン 5.0 以降が必要です。マニュアルの印刷版をご希望の場合、Hologic カスタマーサポートまでご連絡ください。

フリーダイヤル (米国) : +1.800.321.4659

Email: [SkeletalHealth.Support@hologic.com](mailto:SkeletalHealth.Support@hologic.com)




ヨーロッパ、南米、アジアのお客様は、現地の販売代理店または取扱店にお問い合わせください。

## 8 用語と定義

表 1 用語と定義

用語	定義
AC	交流
AKR	空気カーマ、InSight システムに mGy/min の単位で表示される X 線線量
ALARA	As Low As Reasonably Achievable (合理的に可能な限り低減) 電離放射線への暴露を現実的に可能な範囲で低く抑えるためのあらゆる合理的な努力
注釈	画像上で関心領域を示すグラフィックまたはテキストによるマーク。
C-ECHO	PACS とのネットワーク接続を確認。
CMOS	金属酸化物半導体
DAP	面積線量積 (cGy·cm <sup>2</sup> )
DICOM	Digital Imaging and Communications in Medicine (医療におけるデジタル画像と通信)
EER	最大入射線量率
ラストイメージ ホールド	X 線を発生させると、黄色の X 線ランプが点灯し、モニターにリアルタイムで透視画像が表示されます。 X 線を止めると、表示されていた画像がラストイメージホールド像 (LIH) となり、黄色の X 線ランプが消灯します。 この画像は、ユーザーがフィルムストリップ内の別の画像に切り替えるか、次の X 線照射を開始するまで表示され続けます。
ノイズ	患者の体の一部ではない明暗部分 (スペックル)
PACS	画像アーカイブおよび通信システム (PACS) デジタル医療画像の通信およびアーカイブ処理するコンピュータおよびネットワークシステム。
ROI	Region of Interest (関心領域)
SMPTE	The Society of Motion Picture & Television Engineers (米国映画テレビ技術者協会) 制作の、動画表示の品質を確認するためのテストパターン
SSD	ソリッドステートドライブ メモリに集積回路アセンブリを使用してデータを永続的に保存する、ソリッドステートのストレージデバイス
TLD	熱ルミネセンス線量測定。長期にわたる累計 X 線被爆を計測するための方法。

表 2 記号

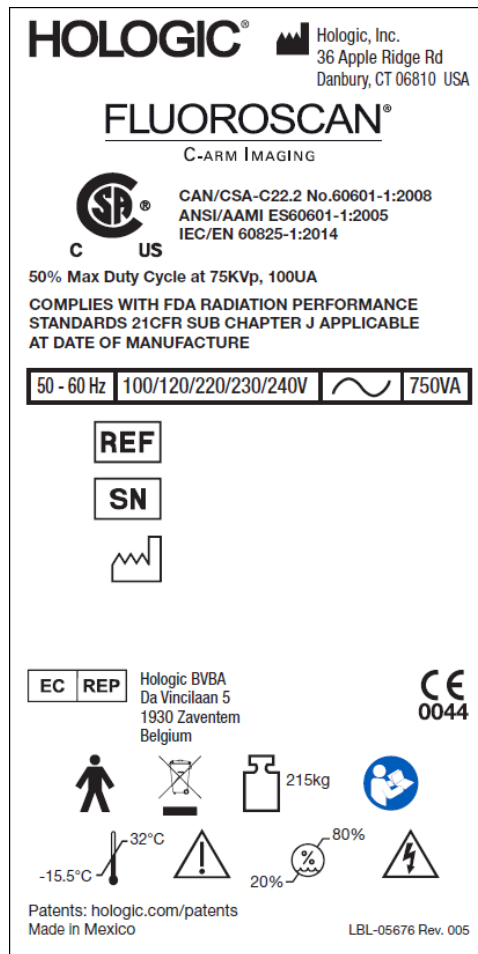
記号	定義
	「注記」は、推奨される行動や追加情報を示します。
	「注意」は、処理の失敗、装置の損傷、データの消失、またはソフトウェアアプリケーション内のファイルの破損、軽いけがを防止するために従う必要のある手順です。
	「警告」は、死亡や重篤なけがを防止するために従う必要のある手順です。

## 9 InSight-FD のシステムラベル

### 9.1 システムメインラベル

システムメインラベルは、ベースキャビネットの背面にあります。\*

図 2 システムメインラベル

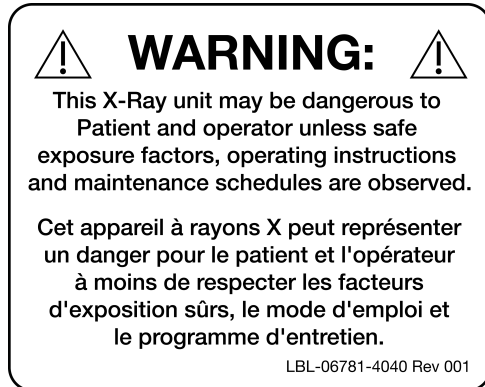


\* ラベル情報の詳細は、MAN-05309-001 に記載されています。

## 9.2 X線システム警告ラベル

X線システム警告ラベルは、ベースキャビネットの左側、DVD プレイヤーの反対側にあります。

図3 X線システム警告



## 9.3 感電警告ラベル

感電に関する警告ラベルは、高電圧コンポーネントを覆っているパネルの固定具の近くにあります。

図4 感電警告



## 9.4 押し移動禁止警告ラベル

押し移動禁止ラベルは、ベースキャビネットの背面にあります。

図 5 押し移動禁止警告ラベル \*



\* キャスターがロックされた状態や障害物がある状態、または C アームを伸ばした状態でシステムを押さないでください。

## 9.5 ISO 7010-M002 ラベル

図 6 ISO 7010-M002 ラベル



マニュアル / 冊子に関する ISO 7010-M002 ラベルは、メインラベルの上にあります。



### 注記

ME 機器\* については「取扱説明書を参照」。

\*ME 機器とは、以下を指します。

1. 特定の主電源への接続が1箇所のみであり、
2. 製造業者が以下の用法を想定している。
  - a. 患者の診断、治療、監視
  - b. 疾病、けが、障害の補正や緩和

かつ、接触面、もしくは患者とのエネルギー交換または患者とのエネルギー交換の検出機能を有し...」。

注記：上記の定義は、European Medical Device Directive（欧州医療機器指令）における医用電子機器の定義と一致しています。

## 9.6 視野

視野は、高圧電力源の下側の盛り上がった四角に表示されています。視野選択レバーが大きな四角を指している場合、全視野が選択されています。視野選択レバーが小さな四角を指している場合、視野の一部が選択されています。

図7 視野



## 記号

表3 記号






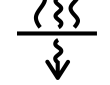






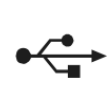

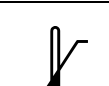
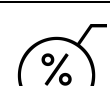





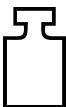
	CSA 認証機器		CE マーク
	警告：感電		注意
	X線源アセンブリ		放熱フィルタ
	タイプBの感電防止策		交流
	接地（アース）		保護接地（アース）
	ヒューズ		等電位性
	USB コネクタ		静電気敏感性デバイス
	温度制限		湿度制限

表 3 記号 (続き)

	コンピュータ電源オンスイッチ		コンピュータスタンバイスイッチ
	製造日		製造元
	廃電気・電子製品に関する欧州連合 (EU) 指令 2002/96/EC に準拠して廃棄されるべき機器。		EC の正式代表
	カタログ番号		シリアル番号
	取扱説明書を参照		押し付け禁止
	機器とその安全作業 負荷の合計重量		



## 10 安全上の問題

以下の表に、さまざまな安全上の問題をまとめました。各問題について、原因と行動指針を記載しています。

表 4 安全上の問題




安全上の問題	原因	行動指針
放射線の安全性	 <p>本システムは電離放射線を発生させるため、本マニュアルの安全上および操作上の指示に従わない場合、患者やオペレータに危険が及ぶおそれがあります。</p>	<p>本システムは散乱放射線レベルを低く抑えられますが、システム操作時には防護用衣類を着用し、放射線安全措置を確認することを推奨します。オペレータは、X線ビームの経路に手や体の一部を置かないようにしてください。</p> <p>X線照射の際は、最高の画像品質を得るため、また被爆を軽減させるため、被写体をCMOS検出器に近づけてください。</p> <p>累計被爆時間が5分を超えると、アラーム音が鳴ります。</p>
電気の安全性	 <p>システム内の電気回路は、重篤なけがや死亡の原因となることがあります。</p> <p>本システムは高電圧で稼働しています。高電圧となるのは次の部分です。</p> <p>X線管：75,000 ボルト。</p>	<p>電気回路や高電圧に起因する危険を軽減するため、本システムには安全カバーが取り付けられています。絶対にカバーを外したり、カバーが外れている状態でシステムを稼働させたりしないでください。カバーが1つでも外れた場合、システムを使用する前にサービスを依頼してください。</p> <p> 本システムの主電源を切断するには、壁の電源コードを抜くしかありません。</p>

表 4 安全上の問題




安全上の問題	原因	行動指針
<p>バランス崩れの危険</p>	<p>C アームの CMOS 検出器に荷重をかけすぎると、システムのバランスが崩れるおそれがあります。CMOS 検出器が支えられる重さは、フレックスアームや C アームの位置、さらにその他の要因によって大きく異なります。フレックスアームを伸ばし、システムの左右どちらから大きく移動させた場合に、バランス崩れのリスクは最大になります。</p>	<p>C アーム CMOS 検出器に荷重をかける場合、装置が不安定にならないよう注意してください。</p> <p> CMOS 検出器に下肢の重量をすべてかけないようにしてください。</p> <p>キャスターがロックされた状態や障害物がある状態で、システムの C アームやマストを押しシステムを左右に動かさないでください。</p>
<p>画像機能の喪失</p>	<p>外科用 器具による検出器の損傷（検出器表面とドリルとの接触など）</p>	<p> C アーム CMOS 検出器を作業台として使用しないでください。</p>
<p>X-線管の無許可での改造</p>	<p> <b>絶対に X 線管周囲のハウジングを取り外したり、X 線管を改造したりしないでください。</b></p> <p>製造工場出荷時および設置時、X 線源およびアセンブリは 21 CFR 1020.30-32 の要件を満たしています。無許可でシステムを改造した場合、死傷のおそれや装置の深刻な損傷のおそれがあり、サービス契約が無効になることもあります。</p>	<p>X 線管は改造しないでください。X 線管の交換をご希望の場合は、Hologic 担当者までご連絡ください。</p>

表 4 安全上の問題

安全上の問題	原因	行動指針
電気火災	あらゆる発生源からの火災。	近くで火災が発生した場合、危険でなければシステムの電源を切り、電源コードを壁のコンセントから抜いてください。 燃焼中のシステムには触れないでください。その場から離れてください。電気火災用の消火器以外は使わないでください。
爆発のおそれ	本システムは、爆発性雰囲気（酸素や亜酸化窒素と混合した可燃性麻酔薬がある場所など）内での使用を想定していません。	部屋に可燃性ガスが充満するなどの異常な状況が発生した場合、ガスを装置に接触させないための措置を取ってください。 以下のガイドラインに従ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• システムの電源のオン/オフを切り替えたり、システムを AC 電源コンセントから抜いたりしないでください。</li> <li>• 他の電動装置は一切使用しないでください。</li> <li>• ただちに避難してください。新鮮な空気と入れ替えてください。</li> <li>• 電動の自動ドアや自動窓の使用は避けてください。</li> <li>• 現地の消防署に連絡してください。</li> </ul>
フットスイッチの安全性	物を落としたり、システム的車輪でひいたり、落としたりするとフットスイッチが損傷するおそれがあります。	こうした危険を防ぐため、操作中や移動中には常にフットスイッチに注意を払うようにしてください。

表 4 安全上の問題


安全上の問題	原因	行動指針
衝突のおそれ	<p>動かし方が不適切な場合や、車輪のブレーキを正しく使用していない場合、システムが思いがけない動きをするおそれがあります。</p> <p>輸送中、可動式のフレックスアームを定位置にロックしていない場合、Cアームが飛び出して患者や医療スタッフが負傷するおそれがあります。</p>	<p> <b>傾斜面でシステムを移動させる場合には、注意してください。</b></p> <p>10度以上の傾斜面でシステムを移動させないでください。水平面であれば、1人でシステムを動かすことができます。操作を始める前に、必ず車輪のブレーキをかけてください。5度以上の傾斜面にシステムを放置しないでください。Cアームの位置を変更した場合は、必ずロックしてください。</p>
清掃の安全性	<p>ほぼすべての液体は、電子機器にこぼすと自然に電気伝導体になります。</p>	<p>本システムは耐水仕様ではありません。システムに液体をこぼした場合、ただちにシステムの電源を切ってください。液体が完全に乾くまで、システムの電源は入れないでください。システムに洗剤をかけたり、吹きつけたりしないでください。</p> <p>InSight-FDの本体、フレックスアーム、Cアームの表面は、柔らかい布か使い捨てのリントフリーのティッシュを、水、イソプロパノール、またはメタノールで湿らせて拭きます。表面をこすらず、軽く拭きます。</p> <p>消毒の詳細については、95ページの<a href="#">セクション 17.3.1 推奨される消毒剤</a>を参照してください。</p>

表 4 安全上の問題





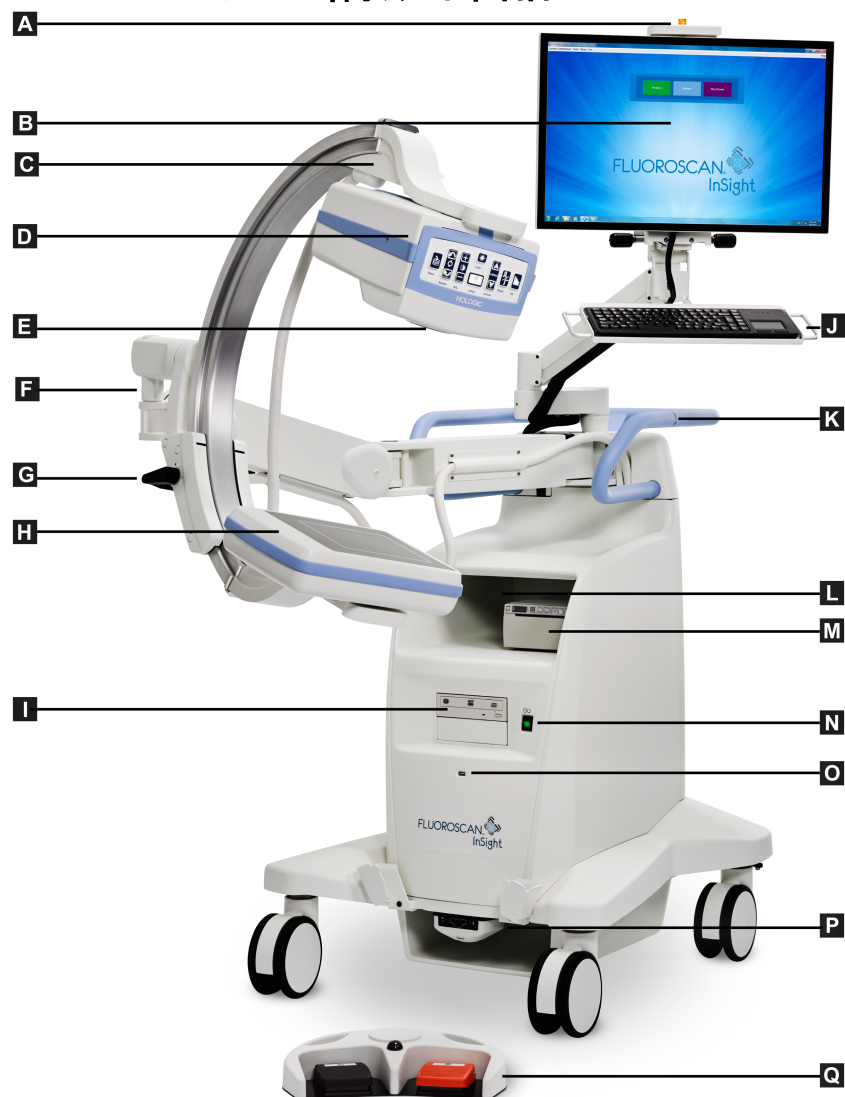
安全上の問題	原因	行動指針
装置の安全性	 <p><b>本システムに未承認の機器を接続すると、負傷するおそれがあります。</b></p> <p>一部の機器は、InSight-FD システムと併用できることが確認されています。そのようなデバイスや互換性のある機器を使用してください。</p>	<p>本マニュアルに記載されている以外の機器を本システムに接続しないでください。本システムのサービスに関する訓練を受けたスタッフ以外は、装置内部に接続する機器の取り付けを行わないでください。</p>
電気手術機器	<p>本システムは、放電に対して保護されています。ただし、電気手術機器が本システムに直接放電した場合、システムの運用に悪影響が出る可能性があります。また、火花間隙タイプの機器が発生させるエネルギー量に対しては、システムを保護しきれない場合があります。</p>	<p>強い電気手術サージでシステムに不具合が生じた場合、次のようにしてください。 システムの電源を切ります。 5 秒待ちます。 システムの電源を入れます。 システムを 2 回リセットしても不具合が解消されない場合は、サービスを依頼してください。</p>
つまずき	 <p>ケーブルやコードにつまづくおそれあり。</p>	<p>コードは邪魔にならない安全な位置に配置してください。使用していないときは、コードをコード管理プレートにしっかり巻き付けてください。</p>
指はさみ注意	 <p>モニターアームを動かすと、指はさみの危険があります。モニターアームがフレックスアーム、Cアーム、ハンドルと接触するおそれがあります。</p>	<p>モニターアームの位置を調整する際には、指や手を安全な位置に置いてください。ジョイント部分やシステムの回転部分に手や指を置かないでください。</p>

表 4 安全上の問題

安全上の問題	原因	行動指針
電源コードの破損	破損している電源コードは感電の危険があります。	InSight-FD ミニ C アームの電源コードが良好な状態であることを確認してください。本体の電源を抜くときは、プラグの差し込み部分をしっかり持って軽く引き抜いてください。コードを引っ張って抜かないでください。
視界不良	 本システムが術野の視界を遮るおそれがあります。	撮影後は、本システムを術野外に移動させることを推奨します。

## 11 システム構成部品



A	X線オンランプ	J	ポインティングデバイス内蔵キーボード
B	タッチスクリーンモニター	K	Cアーム固定具はめこみ位置ライン
C	Cアーム固定具	L	画像プリンタ棚
D	X線ヘッド	M	プリンタ
E	視準器スイッチ	N	コンピュータ電源オン/スタンバイスイッチ
F	フレックスアーム	O	USBポート
G	Cアーム	P	前方収納棚、ワイヤレスフットスイッチブラケット
H	CMOS検出器	Q	ワイヤレスフットスイッチ
I	光学ドライブ (CD/DVD RWレコーダ)		

## 12 操作ボタンおよびインジケータ





### 12.1 X線ヘッド制御パネル

表 5 X線ヘッド制御パネル

記号	ラベル	機能
	Save (保存)	選択した画像またはシネループを患者のレコードに保存します。 保存されている画像の枚数やシネループの分数が保存上限を超えると、メッセージが表示されます。
	Rotate (回転)	画像を時計回りまたは反時計回りに回転させます。1回押すと10度回転します。長押しすると、連続で回転します。
	B/C (輝度 / コントラスト)	画像の輝度とコントラストを調整できます。
	X-ray (X線)	X線写真を撮影します。スイッチを1回押すと、X線が作動します。 モニターの上にある黄色のインジケータランプは、X線が発生していることを示します。視野内にある被写体のX線画像がディスプレイモニターにリアルタイムで表示されます。 黄色のインジケータランプが消えている間、モニターは最後にX線撮影された画像を表示します。この画像は、ラストイメージホールド像と呼ばれることがあります。
	Laser (レーザー)	位置決めレーザーをオンにします。* *[Laser] (レーザー) ボタンを2秒長押しすると、位置決めレーザーがオンのままになります。システムの電源を切ると、このオプションはリセットされます。



表 5 X線ヘッド制御パネル (続き)

記号	ラベル	機能
	Noise Suppression (ノイズ抑制)	画像の取り込み時に使用するノイズ抑制設定を切り替えます。 詳しくは、52 ページの表 23 Physician Preferences (医師の設定)、Image Processing (画像処理) タブ、セクション/フィールドの説明を参照してください。
	kV/mA	選択したモードの技術的係数を増減させます (48 ページの表 22 Physician Preferences (医師の設定)、Image Acquisition (画像の取り込み) タブ、セクション/フィールドの説明)。  出力増ボタンと出力減ボタンを同時に押すと、システムが [Auto Power] (オートパワー) モードに戻ります。
	Mode (モード)	Acquisition Mode Selection (取り込みモードの選択) 次の順に切り替わります。 <b>Continuous (連続)</b> * – ユーザーが X 線を作動させると、黄色の X 線ランプが点灯し、モニターにリアルタイムの連続 X 線画像が表示されます。 ユーザーがフットペダルかチューブヘッドスイッチを放して X 線を停止すると、黄色の X 線ランプが消灯し、ラストイメージホールド像 (X 線停止時に画面に表示されていた画像) が表示されます。 <b>Snapshot (スナップショット)</b> * – X 線を作動させると、装置がラストイメージホールド像のみを取り込みます。ラストイメージホールド像に使用される X 線線量は、X 線モードの技術的係数とノイズ抑制設定に左右されます。適正な kVp、mA、ノイズ抑制値に到達した時点で、照射は終了します。 ALARA を維持するには、[Snapshot] モードが有効です。このモードでは、ユーザーが X 線を停止しなくても、ラストイメージホールド像を取り込むと同時に X 線照射が終了します。 <b>Cine Record (シネレコード)</b> – 取り込んだリアルタイム透視画像を、シネループに記録します。 *[Continuous] モードや [Snapshot] モードは、無効にすることもできます (46 ページのセクション 15.5 Physician Preferences (医師の設定))。

## 12.2 キーボード操作

キーボードはモニターマウントに直接搭載されており、使用中にモニターを回転させたり調整したりしやすいよう取っ手がついています。

表 6 キーボード操作

















アイコン	ファンクションキー	機能
	F1	[Help] (ヘルプ) ウィンドウを表示します。
	F2	[Image Acquisition] (画像の取り込み) セッション中に [Patient Information] (患者情報) ウィンドウを表示します。 [Review] (レビュー) セッション中に [Select Study for Review] (レビュー対象の選択) ウィンドウを表示します。
	F3	画像の左右を反転させます。
	F4	画像を時計回りに 10 度回転させます。
	Shift キー +F4	画像を反時計回りに 10 度回転させます。
	F5	連動がオンになっている場合は kV/mA を低くし、オフになっている場合は kV を低くします。 このキーを押すと、システムが手動モードになります。
	Shift キー +F5	連動がオフになっている場合、mA を低くします。 このキーを押すと、システムが手動モードになります。
	F6	連動がオンになっている場合は kV/mA を高くし、オフになっている場合は kV を高くします。 このキーを押すと、システムが手動モードになります。
	Shift キー +F6	連動がオフになっている場合、mA を高くします。 このキーを押すと、システムが手動モードになります。
	F7	透視アラームタイマーをリセットします。
	F8	現在の画像を患者の記録に保存します。
	F9	現在の画像をローカルプリンタで印刷します。
	F10	記録したシネループの再生のオン / オフを切り替えます。

表 6 キーボード操作（続き）

アイコン	ファンクションキー	機能
	F11	医師のデフォルト設定を復元します。
	Shift キー +F11	システムを Auto Power（オートパワー）モードに戻します。
	F12	<p>画像の取り込み時に使用するノイズ抑制設定を切り替えます。 [Noise Suppression] 設定は、[OFF]（オフ）、[Low]（低）、[Medium]（中）、[High]（高）、[Auto]（自動）、および [Ultra]（ウルトラ）です。</p> <p>[Noise Suppression] を [Off] または [Low] に設定すると、動きによる画像のぶれは少なくなりますが、画像に大幅なノイズが見られるようになります（スペckルなど）。</p> <p>[Noise Suppression] の設定を高め（[Medium]、[High]、[Ultra]）にすると、表示画像に対して平均化されるフレーム数が増えるため、スペckルが減少します。[High] および [Ultra] のノイズ抑制設定は、被写体の動きがなく、鮮明な画像が求められる場合に使用してください。</p> <p>[Noise Suppression] を [Auto] に設定すると、イメージングアルゴリズムが検出した動きにより、ノイズ抑制の程度を [Low]、[Medium]、[High] に切り替えます。</p>

## 13 InSight-FD 20cm SSD コーン の取り付け方法

InSight™ FD 20cm SSD コーンは、次のようにして取り付けます。

- SSD コーンの向きを合わせます。
- コーンをカバーにはめこみます。

本手順の想定所要時間は 5 分です。

表 7 部品リスト

部品番号	説明
ASY-10630	キット、SSD 20cm、InSight-FD
FAB-08816	コーン、SSD、FD
MME-01738	差し込みプラグ、ID 8mm、頭部 12mm

### 13.1 処置

1. InSight のアプリケーションを終了します。
2. システムの電源をオフにします。
3. AC 電源コードを抜き、主電源を切断します。
4. C アームを回転させて (図 9)、線源部分に手が届きやすい位置にします。

図 8 C アームの回転



5. コーンの溝をカバーの穴に合わせます (図 9)。
6. 指でコーン底面の出っ張りを調整します。チューブヘッドカバーの下にある3つの穴にコーンを差し込みます。

図9 コーンの向き調整



7. SSD コーンをカチッと音がするまではめます。



**注記**

SSD コーン不使用時に、穴にフタをするための差し込みプラグ (MME-01738) もあります。



8. C アームを使用位置まで回転させます。
9. AC 電源コードを差し込みます。
10. システムの電源を入れます。
11. InSight アプリケーションにログインします。
12. システムが正常に稼働しているかどうか確認します。

## 13.2 InSight-FD システムフットスイッチ機能

フットスイッチを使うと、複数のソフトウェア機能に簡単にアクセスできます。


図 10 ワイヤレスフットスイッチ



表 8 フットスイッチペダルの機能

参照	アイコン	ペダル	機能
1		保存 / タグ付け	画像を保存するか、タグ付けします。
2		MegaView™ 画像 または印刷	ユーザー設定： <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Perform] (実行) モードで、標準表示と全画面表示 (MegaView™ 画像) を切り替えられます。</li> <li>• 画像を印刷します。</li> </ul>
3		X 線	X 線撮影をします。

表 8 フットスイッチペダルの機能 (続き)

参照	アイコン	ペダル	機能
4		レシーバ	Bluetooth レシーバ



## 注記

フットスイッチ機能を使用するには、レシーバをオンにする必要があります。

各フットスイッチ機能は、[Physician's Preferences] (医師の設定) ウィンドウのオプションで有効にする必要があります。

- フットスイッチを使った参照のタグ付け
- 印刷フットスイッチを使った全画面表示の切り替え



## 13.2.1 X線画像の取り込み

1. X線ペダル (3) を踏むと、画像を取り込みます。
2. もう一度踏むと、次の画像を取り込みます。

## 13.2.2 MegaView 画像の表示

[Perform] モードで「MegaView 画像または印刷」(2) を踏むと、「標準表示」と「全画面表示」の切り替えができます。

[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面または [Enhanced View] (拡張ビュー) 画面で Megaview 画像をダブルクリックすると、画像を拡大できます。

1. [Review] (レビュー) をクリックすると、スキャンした画像が開きます。
2. 画像をダブルクリックすると、画像が Megaview モードで開きます。

## 13.2.3 画像のタグ付け

取り込んだ画像を参照画像としてマークするには、「保存」または「タグ付け」(1) を 1 回踏みます。



### 13.2.4 画像の保存

1. 画像を保存し、参照の選択を解除するには、「保存」または「タグ付け」(1) を 2 回踏みます。
2. 画像を保存し、参照としてマークするには、「保存」または「タグ付け」(1) を 3 回踏みます。

### 13.2.5 画像の印刷



**注記**

プリンタの電源ボタンは別にあります。システムから画像を印刷する前に、必ずプリンタの電源を入れてください。

画像を印刷するには、「MegaView 画像または印刷」(2) を長踏みします。

### 13.2.6 保管

使用していないときは、フットスイッチをシステム前面にあるブラケットに置いてください (図 11)。

図 11 フットスイッチの保管



**警告 :**

フットスイッチと電源コードを、つまずかないように置いてください。

## 14 システムの使用



注記

InSight-FD のオペレータは、本システムを操作する前に「放射線の安全性」セクションをお読みください。

### 14.1 システムの移動



警告：

システムを移動させる前に、C アームを必ず収納場所にロックして、バランスが崩れるのを防止してください。

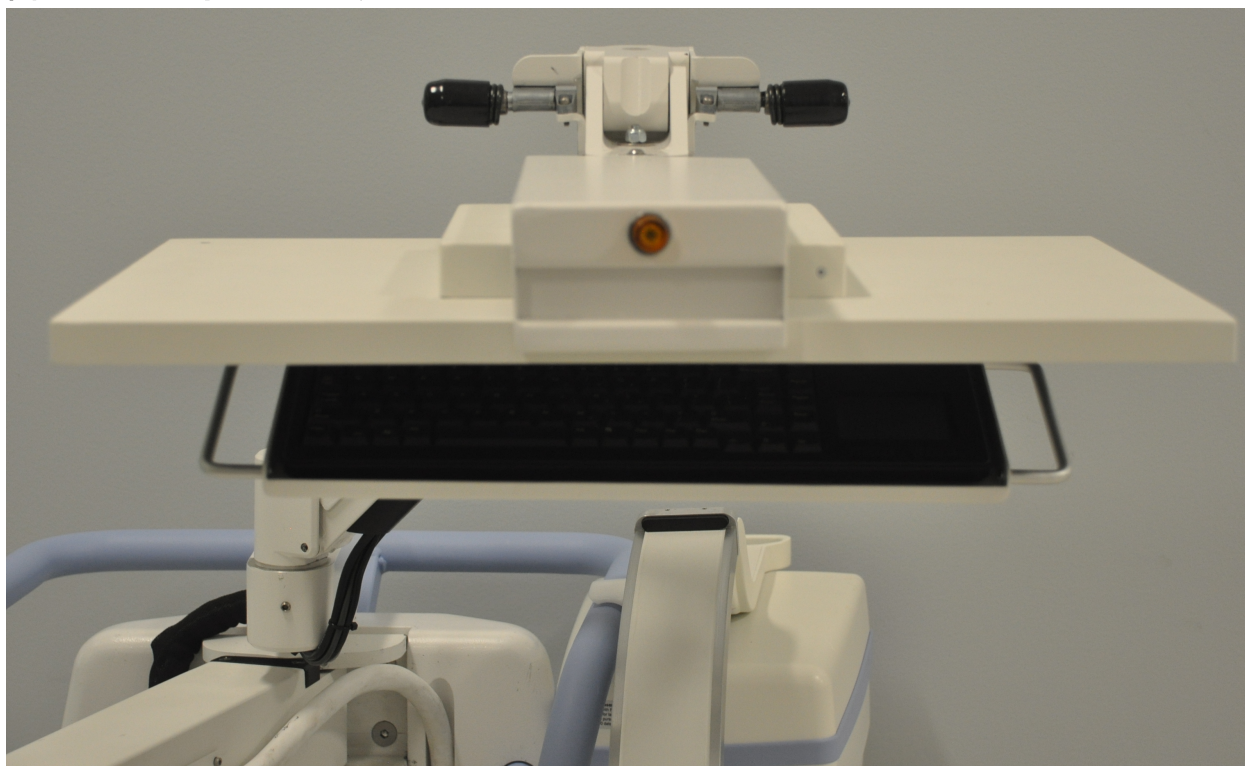
1. システムの電源がオフになっていることを確認します。  
(35 ページのセクション 14.5 システムをシャットダウンするを参照してください。)
2. 電源コードを抜き、キャビネット背面にあるコードガイドに巻き付けます。
3. フットスイッチをフットスイッチブラケットに置きます (図 12)

図 12 ブラケットに置かれたフットスイッチ



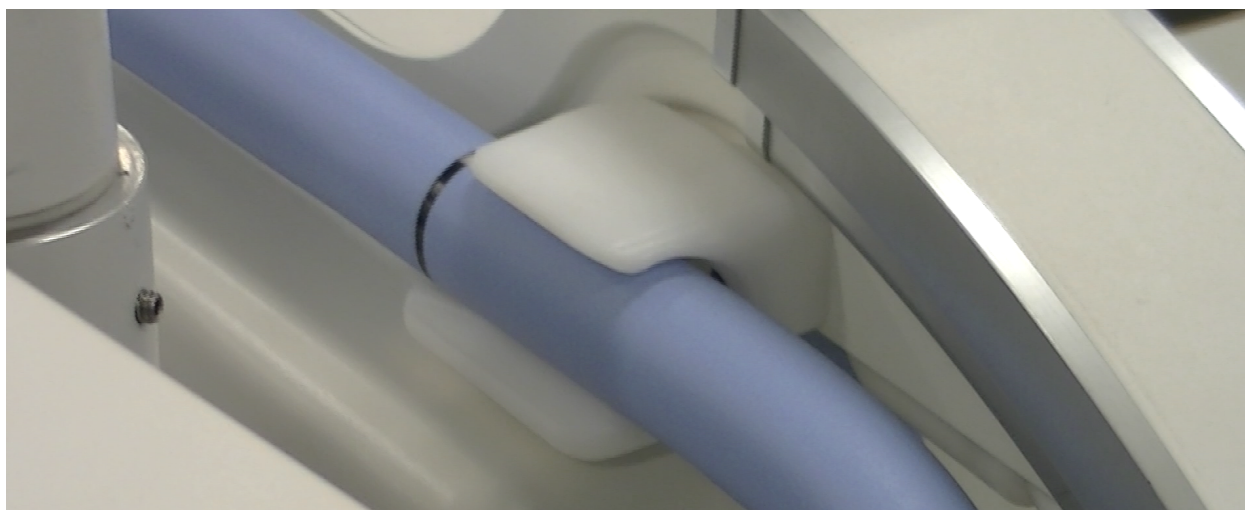
4. マウントの空白部分を利用して、モニターを前方下向きに倒します (図 13)。

図 13 下向きにしたキーボード



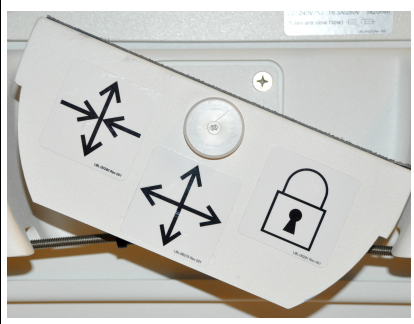
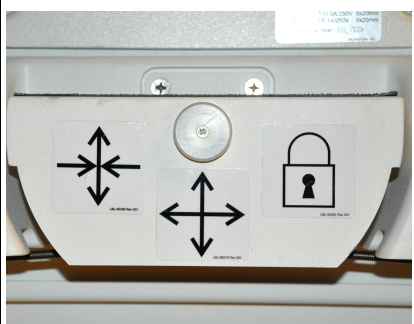
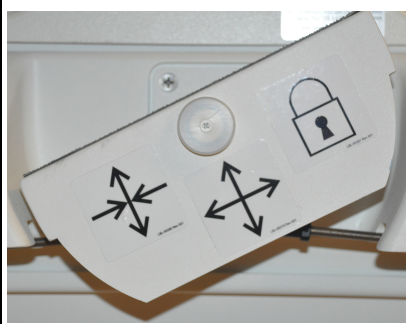



5. Cアームを下方向に押し、Cアームクランプをハンドルと同じ高さにします。
6. アームを装置の右側に曲げます。
7. Cアームクランプの位置をハンドルの黒い表示線の前に合わせ、移動中に検出器が損傷しないようにします。
8. Cアームをクランプにしっかり押し込み、フレックスアームとCアームを固定します (図 14)。

図 14 移動位置の C アーム



9. システムが動かないよう、後輪をロックします。後輪の回転角度をロックしてシステムの横滑りを防ぐことも、ロック解除して横移動を可能にすることもできます。

図 15 キャスター後輪

		
後輪ロック	全方向に移動可能	前後にのみ移動可能
		

## 14.2 C アームの調整



**注意**

システムのアームを動かすと、システム本体や周辺の機器とぶつかることがあります。ぶつかると、システムや他の機器が破損するおそれがあります。

フレックスアームのロックを反時計回りに回して緩めてから、高さを調整します。Cアームの位置を変えるには、次のようにします。

1. Cアームのロックを回して緩めます。
2. アームを希望する位置まで動かします。
3. アームをロックします。

ロックレバーを「ロック」と「ロック解除」の間に合わせると、アームの固定度を自由に調整できます。



**注意**



キャスターがロックされた状態や障害物がある状態で、システムのCアームやマストを押してシステムを左右に動かさないでください。

図 16 C アームの調整



### 14.3 滅菌 C アームドレープ

手術室で InSight-FD ミニ C アームを使用する前に、C アームに滅菌ドレープを装着してください。ドレープの小さなラベルに、X 線ヘッドと CMOS 検出器へのドレープの装着方法が表示されています。



注記

使用後は滅菌 C アームドレープを適切に（感染性廃棄物容器へ）廃棄してください。



注意

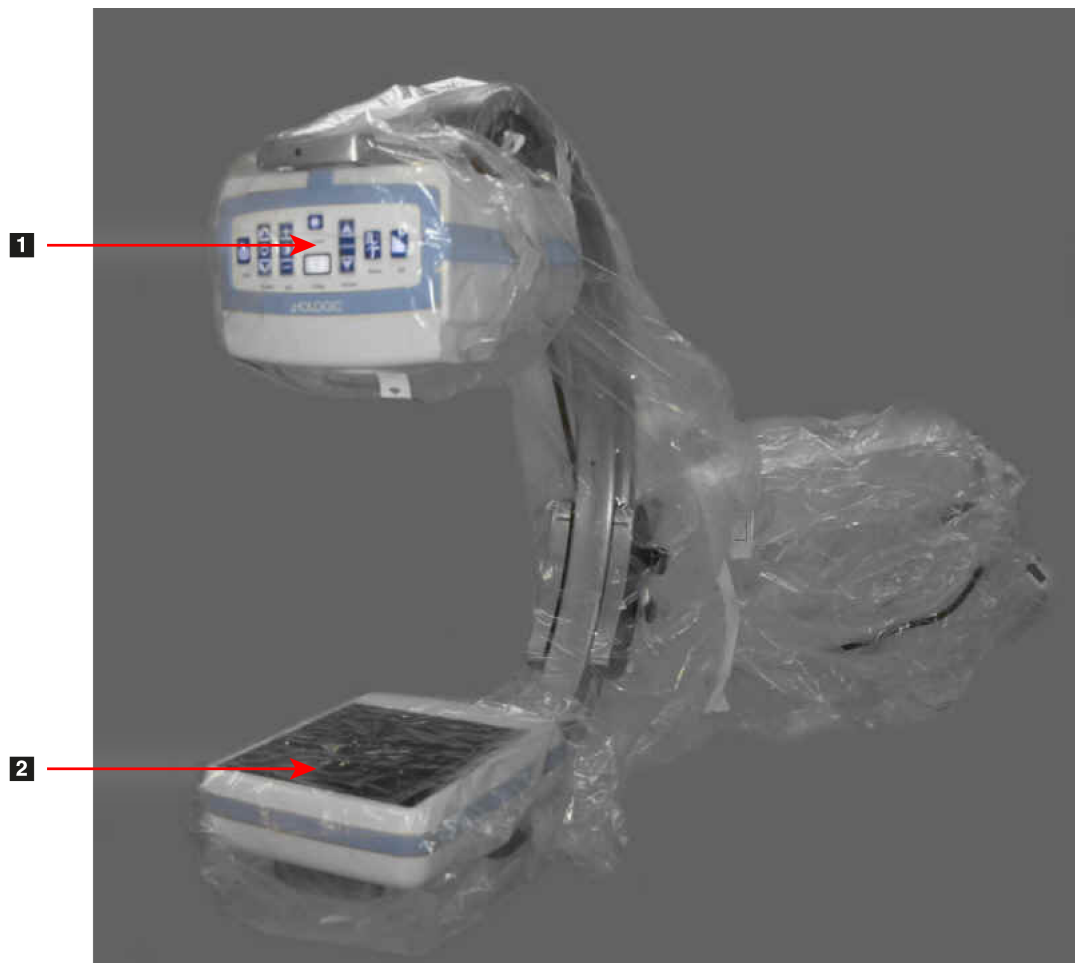
本システムを移動させることで、滅菌エリアに汚染が発生する場合があります。これは C アームにドレープを装着している場合にも起こることがあります。



注意

装着時または使用中にドレープが破れた場合、破れたドレープは廃棄して新しい滅菌ドレープをシステムに装着してください。

図 17 滅菌 C アームドレープ



1. X 線ヘッド
2. 検出器

## 14.4 システムを起動する



警告：

*InSight-FD システムは、米国、日本、カナダモデルでは標準の 115V、60Hz の AC 電源、その他の輸出モデルでは 230V、60Hz の AC 電源、および 240V、50Hz の AC 電源で稼働します。*

- システムは、必ず適切に接地されている接地極付きコンセントに接続してください。
- 絶対に、電源コードの 3 本目（接地）のピンを切って接地極のない電源コンセントに接続しないでください。接地極付きコンセントを 2P に変換するアダプタは、絶対に使用しないでください。

本システムは室温でご使用ください。

電源コードは、標準の接地極付き単相 3 線式コンセントに接続してください。特殊な専用コンセントは不要です。

システムの電源を入れるには、[Computer On/Standby]（コンピュータ電源オン/スタンバイ）スイッチを押します。InSight FD が、ログインを促すプロンプトを出します。システムの電源を2週間以上切っていた場合、X線源を保護し、寿命を延長するために次の線源調整手順を行ってください。

表9 調整スケジュール

手順	kV 値	mA	時間 (分)
1	43	0.05	2分
2	50	0.10	2分
3	60	0.10	2分
4	70	0.10	3分
5	75	0.10	3分



注意

X線を発生させる前に、システムを4分間ウォームアップさせてください。ウォームアップを適切に行わないと、システムが損傷するおそれがあります。

## 14.5 システムをシャットダウンする



注意

シャットダウンする前に、必ず画像を保存してください。

アプリケーションを閉じてシステムを保管場所に戻すには、次のようにします。

- InSight-FD の [Main]（メイン）画面にある [Shut Down]（シャットダウン）ボタンをクリックします。
- 電源コードを抜く前に、InSight-FD の [Main]（メイン）画面の [Exit]（終了）メニューで [Exit]（終了）をクリックします。

## 15 アプリケーションの設定

### 15.1 System Configuration（システム設定）ユーザーインターフェイス

System Configuration（システム設定）ユーザーインターフェイスは、複数ページのタブ選択形式のウィンドウで構成されています。各タブには設定データのページが表示されます。

ウィンドウの下にある4つのボタンは、選択中のページとは独立して以下のように表示されます。

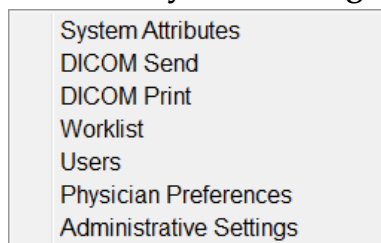
表 10 System Configuration（システム設定）ユーザーインターフェイス

ボタン	機能
OK	すべての [System Configuration]（システム設定）ページのデータを保存し、ウィンドウを閉じます。
Apply（適用）	現在選択中の [System Configuration]（システム設定）ページのデータを保存します。
Cancel（キャンセル）	データを保存せずにウィンドウを閉じます。
Help（ヘルプ）	選択したページのヘルプを表示します。

### 15.2 システム

[Main]（メイン）画面の[System Configuration]（システム設定）メニュー（[図 18](#)）から、[System]（システム）ページ（[図 19](#)）にアクセスできます。

図 18 System Configuration メニュー



System Attributes
DICOM Send
DICOM Print
Worklist
Users
Physician Preferences
Administrative Settings



図 19 システム

The screenshot shows the 'System Configuration' window with the following sections and values:

- Fluoriscan InSight Software:** Serial Number: 10-12345, Software: Fluoriscan InSight Version 6.\*
- Organization Name:** Hologic, Inc.
- Status:** Date of Last System Recover: N/A
- Touch Screen:** ON
- Audit Mode:** OFF
- Current User:** Hologic
- Number of Active Users:** 1
- Image Storage (number of images):** Remaining: 10000, Currently Stored: 0
- Cine loop storage (minutes of recording):** Remaining: 40, Currently Stored: 0
- Default Physician's Name:** (Empty dropdown)
- Selected Language:** English
- Query on Delete:**  Display warning message on deletion of images
- Brightness / Contrast Adjustment:** Seconds to display dialog: 4
- DICOM Application Information:** AE Title, Station Name, IP Address: 10.0.2.15

Buttons at the bottom: OK, Cancel, Apply, Help.

表 11 System ページ

セクション / フィールド	説明
InSight-FD Software Serial Number Software	InSight-FD システムのシリアル番号です。 インストールされているソフトウェアとバージョンを表示する ドロップダウンリストです。
Status	現在の設定ステータスを表示します。
Date of Last System Recover (前回のシ ステム復旧の日付)	アプリケーション設定および設定データがバックアップメデ ィアから復旧された日付です。
Touch Screen (タッチ画面)	[Enabled] (有効) / [Disabled] (無効) を切り替えます。
Audit Mode (監査 モード)	[ON]/[OFF] を切り替えます。
Number of Active Users (アクティブ ユーザー数)	システムにログインできるアクティブな登録ユーザー数です。

表 11 System ページ (続き)

セクション / フィールド	説明
Image Storage (number of images) (画像のストレージ (画像数))	システムに保存可能な画像の最大数 * および現在保存されている数です。 * 画像の最大数は標準的な解像度の画像で示しています。高解像度の画像の場合は多くの保存スペースが必要です。
Cine Loop Storage (minutes of recording) (シネ ループのストレージ (録画の分数))	システムに保存可能な録画の最大分数および現在保存されている録画分数です。
Organization Name (組織名)	管理者は名前が入力が可能です。
Default Physician's Name (デフォルト の医師名)	アプリケーションが使用するデフォルトの医師を選択します。
Selected Language (選択中の言語)	アプリケーションが使用する言語を選択します。
Query on Delete (削除時の質問)	管理者は画像を削除するときの警告メッセージの表示を選択できます。
Brightness/Contrast Adjustment (輝度 / コントラストの調整)	[Brightness/Contrast Adjustment] (輝度 / コントラストの調整) ダイアログが表示される時間数を設定します (1 秒 ~ 60 秒)。
DICOM Application Information (DICOM アプリケー ション情報)	アプリケーションの [AE Title] (AE タイトル) および [Station Name] (ステーション名) です。IP Address (IP アドレス) は、アプリケーションが動作しているシステムに割り当てられているネットワークアドレスを表示します。 [Station Name] (ステーション名) により、複数のシステムが同じ AE タイトルを使用することができます。

## 15.3 DICOM 送信のオプション

[Main] (メイン) 画面の [System Configuration] (システム設定) メニュー (図 18) から利用可能です。

イーサネットケーブルをシステムに接続した後、以下のステップを実行します。

図 20 DICOM 送信のオプション

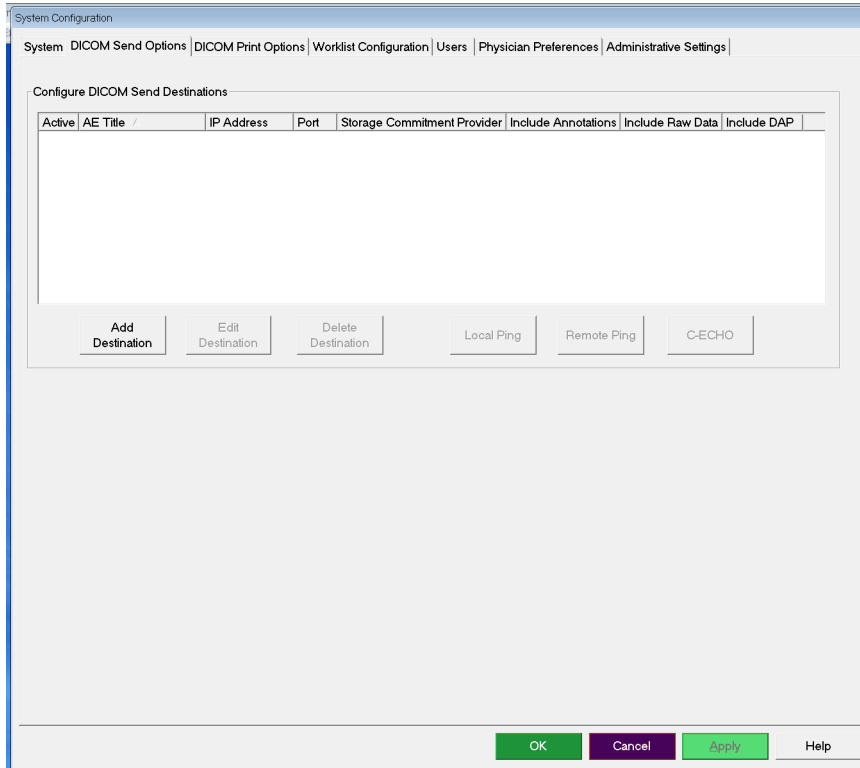


表 12 DICOM Send Options ページ

セクション / フィールド	説明
Configure DICOM Send Destinations (DICOM 送信先の設定)	システム内に設定された DICOM 送信先の選択リストおよび 6 つのファンクションボタンです。 [Active] (アクティブ) 列のチェックボックスにチェックを入れると、使用する宛先を有効化します。
Add/Edit Destination (宛先の追加 / 編集)	DICOM 送信先を識別するための入力 / 編集フィールド、3 つのチェックボックス、2 つのファンクションボタンです。
AE Title (AE タイトル)	宛先のアプリケーションエンティティのタイトルです。
Host Name or IP Address (ホスト名または IP アドレス)	宛先名または IP アドレスです。
Port (ポート)	宛先のポート番号です。

表 12 DICOM Send Options ページ (続き)

セクション/フィールド	説明
Use as Storage Commitment Provider (保存委託プロバイダとして利用)	チェックを入れると、送信した情報の保存を宛先に委託します。 通常のシャットダウン中、[DICOM Commit] (DICOM コミット) キューのエントリが7日前以前の場合、以下のメッセージが表示されます。 <i>DICOM 保存委託キューに7日前以前のエントリが含まれています。削除してもよろしいですか？</i>
Include Raw Data (ローデータを含む)	チェックを入れると、宛先に送信される検査にローデータが含まれます。
Include Annotations (注釈を含む)	チェックを入れると、エクスポートされる画像に注釈が含まれます。含める方法の選択肢は次のとおりです。 Embedded (埋め込み) - 注釈はビットマップ画像に埋め込まれます。 As Overlay (オーバーレイ) - 注釈は DICOM のオーバーレイとして含まれます。 As annotation files (注釈ファイル) - 注釈は別のファイルとして含まれます。

表 13 DICOM Send Options (DICOM 送信オプション) ページ、ボタンの機能

ボタン	機能
Add Destination (宛先の追加)	DICOM 送信先をシステムに追加します。
Edit Destination (宛先の編集)	選択した宛先情報を編集します。
Delete Destination (宛先の削除)	選択した宛先をシステムから削除します。
Local Ping (ローカル Ping)	ローカルネットワークとの接続を確認します。
Remote Ping (リモート Ping)	選択した宛先とのネットワーク接続を確認します。
C-ECHO	PACS とのネットワーク接続を確認。
OK	新規または更新された情報を含む選択リストを更新し、宛先の [Active] (アクティブ) チェックボックスを確認します。
Cancel (キャンセル)	すべての編集を無視して、[Add Edit Destination] (宛先の追加) / [Edit Destination] (宛先の編集) セクションを非表示にします。

### 15.3.1 DICOM 印刷オプション

[Main] (メイン) 画面の [System Configuration] (システム設定) メニュー (図 18) から利用可能です。

図 21 DICOM Print Options (DICOM 印刷オプション)

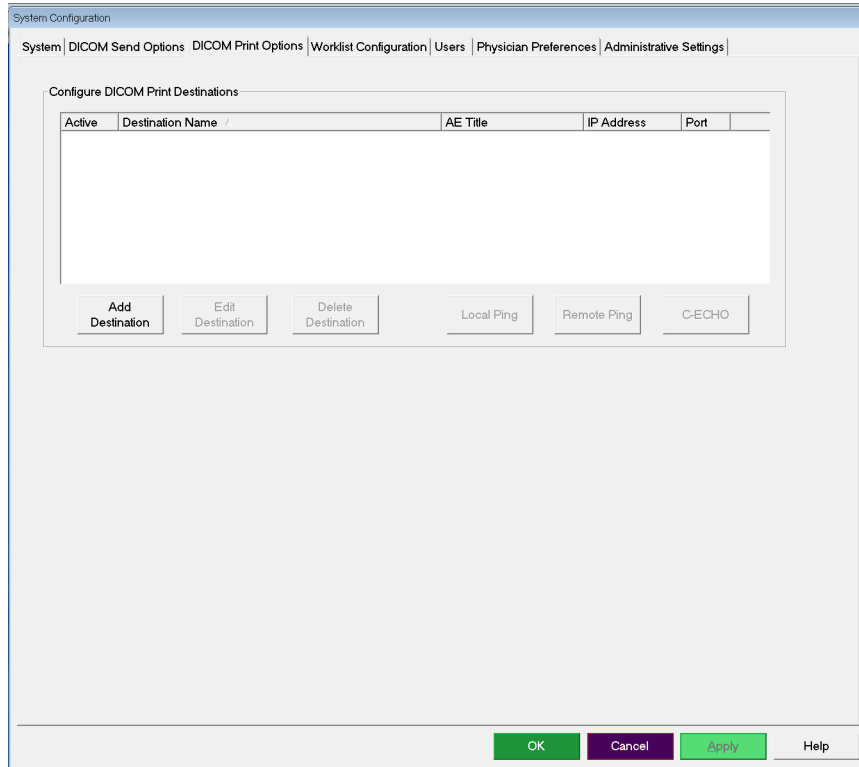


表 14 DICOM Print Options (DICOM 印刷オプション) ページ、選択 / フィールドの説明

セクション / フィールド	説明
Configure DICOM Print Destinations (DICOM 印刷先の設定)	システムで設定された DICOM 印刷先の選択リストおよび 6 つのファンクションボタンです。 [Active] (アクティブ) 列のチェックボックスにチェックを入れると、使用する宛先を有効化します。
Add/Edit Destination (宛先の追加 / 編集)	DICOM 印刷先を識別するための入力 / 編集フィールド、印刷パラメータの入力および選択セクション、2 つのファンクションボタンです。
AE Title (AE タイトル)	宛先のアプリケーションエンティティのタイトルです。
Host Name or IP Address (ホスト名または IP アドレス)	宛先名または IP アドレスです。
Port (ポート)	宛先のポート番号です。

表 14 DICOM Print Options (DICOM 印刷オプション) ページ、選択 / フィールドの説明 (続き)

セクション / フィールド	説明
Destination Name (宛先名)	宛先名 (1 つの宛先を複数の方法で設定することが可能)。
<b>Print Parameters (印刷パラメータ)</b>	
Number of Copies (部数)	印刷する部数を入力します。
Image Display Format (画像の表示フォーマット)	ドロップダウンリストから (行および列) を選択します。
Orientation (印刷の向き)	画像レイアウトを選択します (ポートレートまたはランドスケープ)。
Film Size (フィルムサイズ)	ドロップダウンリストから選択します。
Medium Type (媒体タイプ)	ドロップダウンリストから選択します。
Decimate/Crop Behavior (縮小 / クロップ)	ドロップダウンリストから選択します。

表 15 DICOM 印刷オプションページ、ボタンの機能

ボタン	機能
Add Destination (宛先の追加)	DICOM 印刷先をシステムに追加します。
Edit Destination (宛先の編集)	選択した宛先情報を編集します。
Delete Destination (宛先の削除)	選択した宛先をシステムから削除します。
Local Ping (ローカル Ping)	ローカルネットワークとの接続を確認します。
Remote Ping (リモート Ping)	選択した宛先とのネットワーク接続を確認します。
C-ECHO	PACS とのネットワーク接続を確認。
OK	新規または更新された情報を含む選択リストを更新し、宛先の [Active] (アクティブ) チェックボックスを確認します。
Cancel (キャンセル)	すべての編集を無視して、[Add Edit Destination] (宛先の追加) / [Edit Destination] (宛先の編集) セクションを非表示にします。

## 15.4 ワークリスト設定

[Main] (メイン) 画面の [System Configuration] (システム設定) メニュー (図 18) から利用可能です。

図 22 ワークリスト設定

表 16 Worklist Configuration (ワークリスト設定)、セクションの説明

セクション / フィールド	説明
Worklist Provider (ワークリストのプロバイダ)	プロバイダの [AE Title] (AE タイトル)、[Host Name or IP Address] (ホスト名または IP アドレス)、および [Port] (ポート) の入力フィールドによって、ワークリストにアクセスするシステムを識別します。
Use Performed Procedure Step (実行手順ステップを使用)	チェックを入れると、必要に応じて DICOM モダリティ実行手順ステップを実施します。

表 16 Worklist Configuration (ワークリスト設定)、セクションの説明

セクション/ フィールド	説明
Provider (プロバイダ)	[Worklist Provider] (ワークリストプロバイダ) セクションで識別されたシステム以外のシステムにアクセスできます。 [Use Worklist Provider Data] (実行手順ステップを使用) にチェックを入れると、[Worklist Provider] (ワークリストプロバイダ) セクションの対応するフィールドの内容と同じデータが自動的に [AE Title] (AE タイトル)、[Host Name or IP Address] (ホスト名または IP アドレス)、および [Port] (ポート) フィールドに反映されます。チェックを外すと、ユーザーがフィールドを入力することができます。
Query Parameters (検索パラメータ)	以下を識別する入力フィールドを提供します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 要求元のシステム (AE タイトル)</li> <li>• 要求中のワークリストのタイプ (モダリティ)</li> <li>• 検索範囲となる日数</li> <li>• ワークリストに含める患者の調査計画の最大数</li> </ul>
Auto Query Interval (自動検索間隔)	自動検索を実行するかどうか、またその頻度を指定します。
Query Retry Parameters (検索の再試行パラメータ)	指定の時間後に検索がタイムアウトになった場合の指定 ([Query Timeout] (検索タイムアウト) チェックボックスと [Min] (分) セクション)、およびリトライ回数と時間間隔を指定します。
Worklist sets Modality (ワークリストによりモダリティをセット)	チェックを入れると、ワークリストによりモダリティがセットされます。

表 17 Worklist Configuration (ワークリスト設定)、ボタンの機能

ボタン	機能
Map Worklist Fields (ワークリストフィールドのマッピング)	[Map Worklist Keys] (ワークリスト キーのマッピング) ウィンドウを表示します。管理者は InSight-FD のデータフィールドをワークリストプロバイダのデータフィールドにマッピングできます。
Local Ping (ローカル Ping)	ローカルネットワークとの接続を確認し、結果を表示します。



表 17 Worklist Configuration (ワークリスト設定)、ボタンの機能

ボタン	機能
Remote Ping (リモート Ping)	ワークリストのプロバイダまたはプロバイダシステムとのネットワーク通信を確認します。
C-ECHO	PACS とのネットワーク接続を確認します。

### 15.4.1 Users (ユーザー)

[Main] (メイン) 画面の [System Configuration] (システム設定) メニュー (図 18) から利用可能です。

図 23 Users (ユーザー)

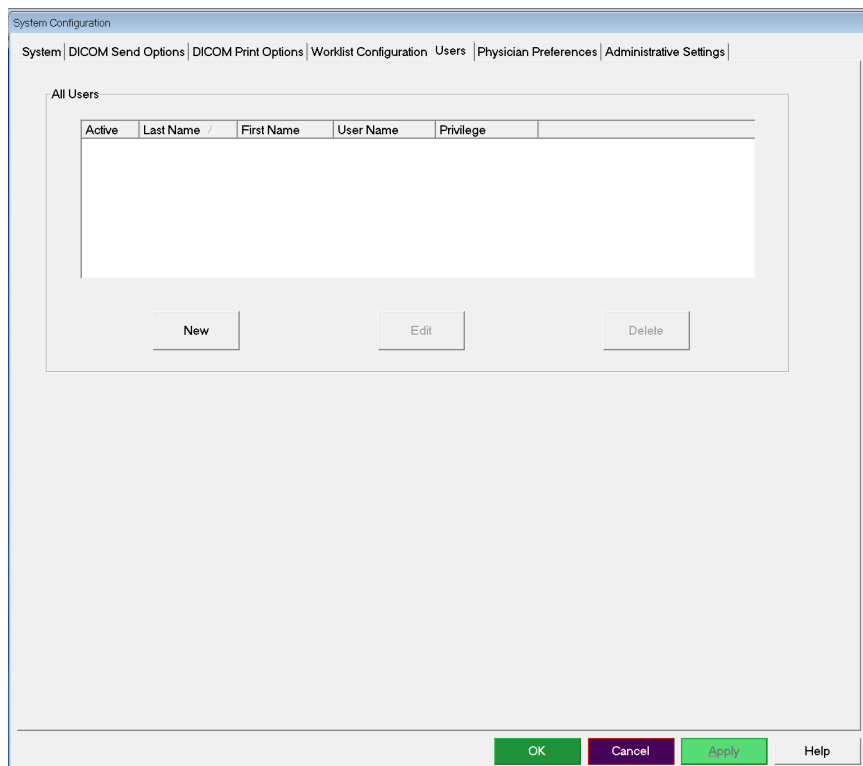


表 18 Users (ユーザー) ページ、セクション/フィールドの説明

セクション / フィールド	説明
All Users (すべてのユーザー)	登録されているシステムユーザーの選択リストを表示します。 [Active] (アクティブ) 列のチェックボックスにチェックを入れると、システムにログインするユーザーを許可します。
Add/Edit User (ユーザーの追加 / 編集)	ユーザーの実際の名前、ログインユーザー名、ログインパスワード、および権限に関する管理者用の入力 / 編集フィールドです。

表 19 Users (ユーザー) ページ、ボタンの機能

ボタン	機能
New (新規)	新規ユーザーをシステムに追加します。
Edit (編集)	選択したユーザー情報を編集します。
Delete (削除)	選択したユーザーをシステムから削除します。
OK	ユーザーリストを更新します。
Cancel (キャンセル)	すべての編集を無視して、[Add/Edit User] (ユーザーの追加 / 編集) セクションを削除します。

## 15.5 Physician Preferences (医師の設定)

[Main] (メイン) 画面の [System Configuration] (システム設定) メニュー (図 18) から利用可能です。

表 20 Physician Preferences (医師の設定)、セクション / フィールドの説明

セクション / フィールド	説明
Set System Defaults or Physician Defaults (システムのデフォルトまたは医師のデフォルトを設定)	往診医師に使用するシステムのデフォルトを選択します。医師のデフォルトを選択して、選択した医師のデフォルトを設定します。
Select Physician to set details for (詳細を設定する医師を選択)	システムに登録されているすべての医師の選択リスト、医師名の入力フィールド、2つのボタン ([Add Physician] (医師の追加) および [Delete Physician] (医師の削除))。

表 21 Physician Preferences (医師の設定)、ボタンの機能

ボタン	機能
Add Physician (医師の追加)	医師の名前およびデフォルトの設定をシステムに追加します。
Delete Physician (医師の削除)	選択した医師をシステムから削除します。
Reset Defaults (デフォルトにリセット)	システムのデフォルトを編集している場合、すべての設定を工場出荷のデフォルト値にリセットします。また、医師の設定を編集している場合は、システムのデフォルト値にリセットします。システムのデフォルト値を保存していない場合、すべての設定は工場出荷のデフォルト値にリセットされます。
Save (保存)	システムのデフォルト値の設定、または選択した医師の設定を保存します。

## 15.6 Physician Preferences (医師の設定) — Image Acquisition (画像の取り込み)

システムまたは選択した医師の現在のデフォルト設定を表示します。管理者は設定をカスタマイズできます。

図 24 Physician Preferences (医師の設定) — Image Acquisition (画像の取り込み)

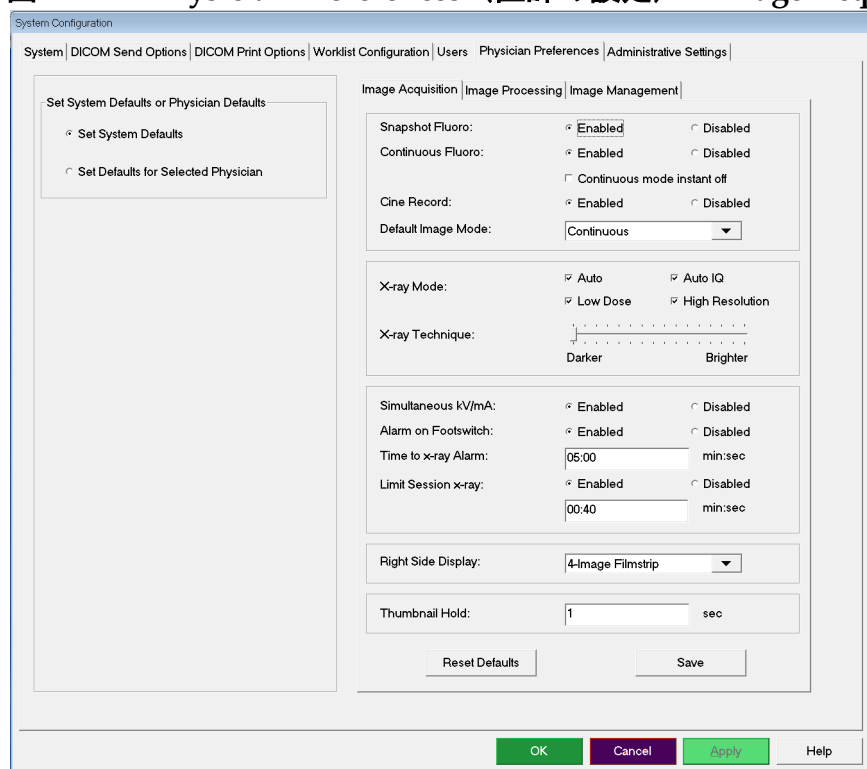


表 22 Physician Preferences (医師の設定)、Image Acquisition (画像の取り込み) タブ、セクション/フィールドの説明

セクション/ フィールド	説明
Snapshot Fluoro (透視画像のスナップショット)	スナップショット画像の取り込みモードを有効化 / 無効化します。
Continuous Fluoro (連続透視画像)	連続画像の取り込みモードを有効化 / 無効化します。

表 22 Physician Preferences (医師の設定)、Image Acquisition (画像の取り込み) タブ、セクション/フィールドの説明

セクション/ フィールド	説明
Continuous mode instant off (連続モードの即時オフ)	<p>チェックを入れて連続モードで画像を取り込むと、X線ボタンかペダルを放すとすぐにX線が停止します。チェックを外すと、ボタンやペダルを放した後、X線の照射を最大4秒間継続し、求めるX線の技術的係数やノイズ抑制設定で画像を取得することができます。</p> <p>この機能により、露出不足の画像や、求めるノイズ抑制に必要なフレームがない画像の取り込みを防止します。結果として、露出不足による再撮影を防止します。</p> <p>また、この設定では、X線ボタンまたはペダルをタップして、スナップショットモードのような動作で画像を取り込むことができます。ボタンかペダルを押し続けると、ボタンかペダルを放すまでX線の照射を継続します。</p>
Default Image Mode (デフォルトの画像モード)	[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面のデフォルトの画像モードの設定を選択します。
X-ray Mode (X線モード)	<p>有効にするX線モードを選択します。[Auto] (自動)、[Auto IQ] (自動IQ)、[Low Dose] (低線量)、および [High Resolution] (高解像度) から選択します。[Auto] (自動)、[Auto IQ] (自動IQ)、[Low Dose] (低線量) のいずれか1つを必ず有効化します。もしくは、システムにより [Auto] (自動) モードが有効化されます。システムのデフォルトでは、すべてのモードが有効化されます。</p>
X-ray Technique (X線検査)	<p>[Darker] (暗い) から [Brighter] (明るい) まで15段階の設定が選択可能なスライダーコントロールにより、自動露出制御における希望するkVpとmAを選択します。この値を [Darker] (暗い) / [Brighter] (明るい) に変更すると、自動露出制御によって選択されるkVpとmAを少しずつ増減し、結果として対応する患者への線量が増減します。</p>
Simultaneous kV/mA (kV/mAの連動)	<p>有効にすると、X線のパワーを手動で調整する場合、次の線量曲線に、kVとmAがペアで一緒に増減します。無効にすると、kVとmAを単独で調整することが可能です。</p>
Alarm on Footswitch (フットスイッチのアラーム)	X線フットスイッチが押されたときに鳴るアラームの設定を有効化または無効化します。

表 22 Physician Preferences (医師の設定)、Image Acquisition (画像の取り込み) タブ、セクション/フィールドの説明

セクション/ フィールド	説明
Time to X-ray Alarm (X線アラームの時間)	累積の X 線照射時間に基づいて、アラームの鳴る時間を設定します。最大値は 5 分です。
Limit Session X-ray (セッションの X 線の上限)	累積の X 線照射時間の上限 * を設定します。設定した上限の 30 秒前から (最大値は 10 分)、警告が画面の右上端に表示されます。セッションを延長しない場合、セッションを延長する、または終了するか警告されます。 *X 線照射時間が上限に達した場合、X 線は無効になります。ユーザーはセッションを終了するか、再開して続行する必要があります。
Right Side Display (右側の表示)	[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面のデフォルトのフィルムストリップ / ツールエリアの設定を選択します。
Thumbnail Hold (サムネイル保持)	画像の取り込み終了後、サムネイル画像を表示する時間を決定します。

## 15.7 Physician Preferences (医師の設定) — Image Processing (画像の処理)

システムまたは選択した医師の現在のデフォルト設定を表示します。管理者は設定をカスタマイズできます。

図 25 Physician Preferences (医師の設定) — Image Processing (画像の処理)

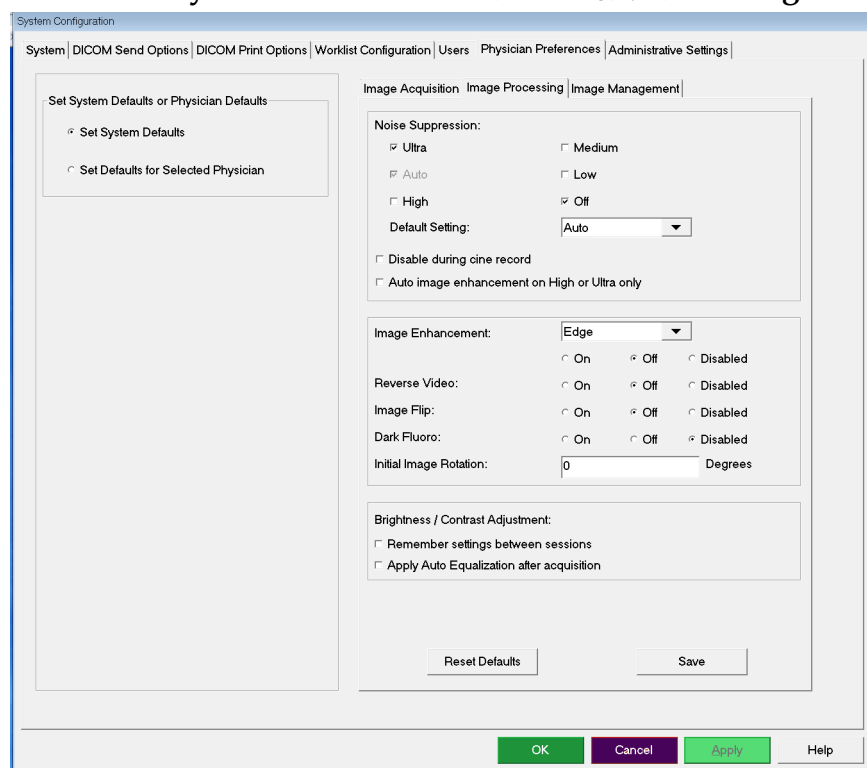


表 23 Physician Preferences (医師の設定)、Image Processing (画像処理) タブ、セクション/フィールドの説明

セクション/ フィールド	説明
Noise Suppression (ノイズ抑制)	<p>画像の取り込み時に使用するノイズ抑制設定を切り替えます。[Noise Suppression] (ノイズ抑制設定) には [OFF] (オフ)、[Low] (低)、[Medium] (中)、[High] (高)、[Auto] (自動)、および [Ultra] (ウルトラ) があります。</p> <p>[Noise Suppression] (ノイズ抑制) を [OFF] (オフ) または [Low] (低) に設定すると、動きによる画像のぶれは少なくなりますが、画像に激しいノイズが発生しなくなります (スペckルなど)。</p> <p>[Noise Suppression] の設定を高め ([Medium]、[High]、[Ultra]) にすると、表示画像に対して平均化されるフレーム数が増えるため、スペckルが減少します。[High] および [Ultra] のノイズ抑制設定は、被写体の動きがなく、鮮明な画像が求められる場合に使用してください。</p> <p>[Auto] (自動) のノイズ抑制は、画像アルゴリズムが検知した動きによって、[Low] (低)、[Medium] (中)、[High] (高) のいずれかに変更されます。</p> <p>[Disable during cine record] (シネ録画中は無効) - チェックを入れると、シネ録画中のノイズ抑制を無効化します。</p> <p>[Auto edge enhancement on High or Ultra only] ([High] (高) と [Ultra] (ウルトラ) のみ自動強調) - チェックを入れると、画像のエンハンス処理はノイズ抑制が [High] (高) または [Ultra] (ウルトラ) の場合のみ行われます。</p> <p>[Default Setting] (デフォルト設定) 画像の取り込みセッションのデフォルトのノイズ抑制を定義します。ドロップダウンリストから [Ultra] (ウルトラ)、[Auto] (自動)、[High] (高)、[Medium] (中)、[Low] (低)、または [OFF] (オフ) を選択します。</p>
Image Enhancement (画像のエンハンス処理)	<p>またはドロップダウンから [Edge] (エッジ) または [Sharpen] (シャープ) を選択します。エッジを強調をすると、画像の骨と軟組織の間の可視性が向上します。シャープを強調すると、細部の可視性が向上します。[ON]/[OFF] または [Disabled] (無効) は、[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面の [image effects] (画像の効果) 設定に影響します。</p>
Reverse Video (ビデオの白黒反転)	<p>[ON]/[OFF] または [Disabled] (無効) を選択すると、[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面の [image effects] (画像の効果) 設定に影響します。</p>



表 23 Physician Preferences (医師の設定)、Image Processing (画像処理) タブ、セクション/フィールドの説明 (続き)

セクション/ フィールド	説明
画像の反転	[ON]/[OFF] または [Disabled] (無効) を選択すると、[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面の [image effects] (画像の効果) 設定に影響します。
Dark Fluoro (黒色透視画像)	[ON]/[OFF] または [Disabled] (無効) を選択すると、[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面の [image effects] (画像の効果) 設定に影響します。
Initial Image Rotation (画像の デフォルト回転)	画像を取り込み中に、画像を自動的に回転するための角度を数字で入力します。マイナスの数を入力すると反時計回りの回転になります。
Brightness/ Contrast Adjustment (輝度/コントラ ストの調整)	[Remember settings between sessions] (セッション間の設定を記憶) - チェックを入れると、その後の画像のために [Brightness/Contrast] (輝度/コントラスト) の設定を保持します。 [Apply Auto Equalization after acquisition] (取り込み後に自動平均化を適用) - チェックを入れると、自動平均化を画像に適用してコントラストを最適化します。

## 15.8 Physician Preferences (医師の設定) — Image Processing (画像の処理)

システムまたは選択した医師の現在のデフォルト設定を表示します。管理者は設定をカスタマイズできます。

図 26 Physician Preferences (医師の設定) — Image Processing (画像の処理)

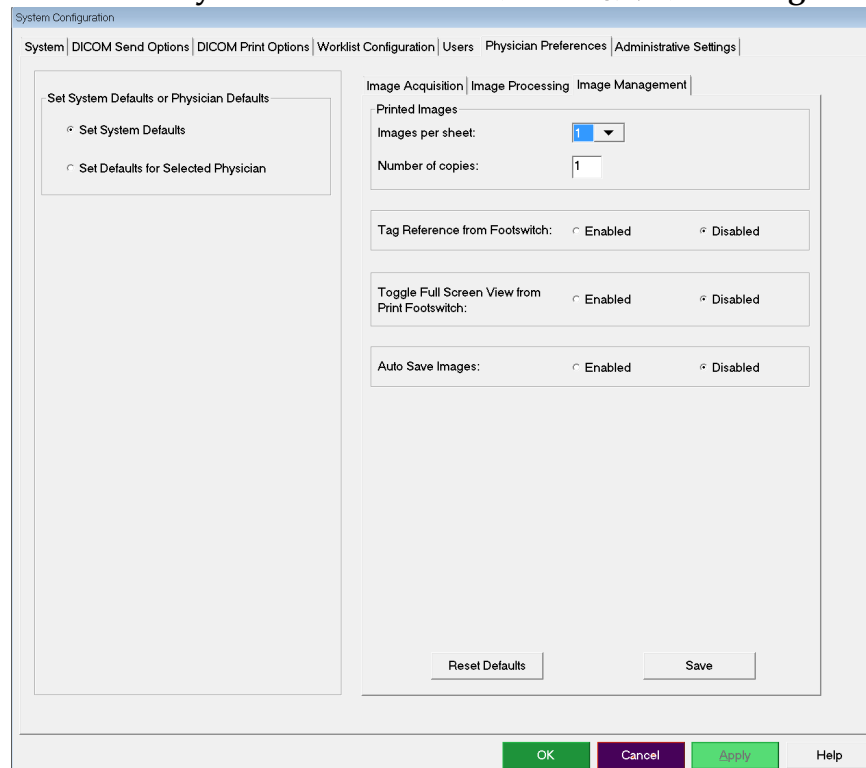


表 24 Physician Preferences (医師の設定)、Image Management (画像管理) タブ、セクション/フィールドの説明

セクション/ フィールド	説明
Printed Images (印刷画像)	シート別に画像の枚数と、印刷する部数を選択します。
Tag Reference from Footswitch (フットスイッチから参照タグを付ける)	有効化した場合： [Save footswitch] (フットスイッチの保存) を 1 回押すと、画像を参照としてタグ付けします。 [Save] (保存) を 2 回押すと、画像を保存して参照タグを削除します。 [Save] (保存) を 3 回押すと、参照画像として、再度画像にタグを付けます。 無効化した場合： [Save footswitch] (フットスイッチの保存) を 1 回押すと、画像を保存しません (参照画像として画像にタグを付けません)。
Autosave Images (画像の自動保存)	セッション中にスキャンした画像を自動的に保存するには、[Enabled] (有効化) を選択して [Autosave Image] (画像の自動保存) を有効化します。 * [Alarm on Footswitch] (フットスイッチのアラーム) が有効になっている場合、X 線がオンの音が鳴った後、画像が保存されたことを示す音が鳴ります。

## 15.9 Administrative Settings (管理者設定) ページ

[Main] (メイン) 画面の [System Configuration] (システム設定) メニューから利用可能です。

表 25 管理者設定、セクションの説明

セクション/ フィールド	説明
Log Files (ログファイル)	すべてのログファイルの選択リストです。
Set Level of Detail (詳細レベルの設定)	管理者は詳細な [System Error] (システムエラー) ログのレベルを、[Error Only] (エラーのみ) または [Error and Operations] (エラーおよび操作) に設定することができます。
Audit Mode (監査モード)	管理者は [ON] または [OFF] に設定できます。

表 25 管理者設定、セクションの説明（続き）

セクション/ フィールド	説明
Enable Touch Screen（タッチ画面を有効化）	管理者は有効化または無効化することができます。
Automatic Image Deletion（自動画像削除）	以下の上限で [Delete]（削除）を確認します。 削除プロンプトが表示される画像数、および削除される画像数の設定 および 削除のプロンプトが表示されるシネの分数、および削除されるシネ分の分数の設定。 削除する前に、希望する画像数、またはシネの分数を得るために必要な検査数がシステムにより表示されます。
Last System Backup（前回のシステムバックアップ）	前回のシステム設定とキャリブレーションのバックアップを表示します。 前回のバックアップが __ 日より古い場合に警告が表示されます チェックを入れると、アプリケーションを開始したときに、前回のバックアップが指定の日付より古い場合にシステムより警告メッセージが表示されます。
System Shutdown（システムシャットダウン）	管理者はチェックを入れるか、チェックを解除することができます。 チェックを入れると、完全にシステムがシャットダウンします（デフォルトの設定）。 チェックを解除すると、InSight-FD アプリケーションのみシャットダウンします。

表 26 Administrative Settings（管理者設定）、ボタンの機能

ボタン	機能
Configure（設定）	[Level of Detail]（詳細レベル）セクションを表示します。
Accept Change（変更を承認）	[System Error]（システムエラー）ログの詳細レベルを、[Error Only]（エラーのみ）または [Error and Operations]（エラーおよび操作）で選択した詳細レベルに変更します。[Set Level of Detail]（詳細レベルの設定）セクションを非表示にします。

## 16 アプリケーションの使用

ユーザーはボタン、メニュー、メニュー機能、アイコンを選択できます。また、次の方法で挿入カーソルをフィールドに配置できます。

- 各項目にカーソルを合わせ、マウスの左ボタンをクリックする、または
- タッチ画面が有効になっている場合は、タッチ画面上の項目をタッチする。

このマニュアルでは、「クリック」はこの両方の操作を指します。

[Audit Mode] (監査モード) が [ON] の場合、[Main] (メイン) 画面が表示されます。  
[Audit mode] (監査モード) が [OFF] の場合、[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面が表示されます。

### 16.1 患者の位置決め

検出器の上で患者の体を希望する位置に配置します。必要に応じて位置決めレーザーを使用して、より詳細に位置決めします。

## 16.2 Main（メイン）画面

図 27 Main（メイン）画面



表 27 Main（メイン）画面のオプション

1	システム設定メニュー（表 28）。
2	Tools（ツール）メニュー（表 29）
3	<b>About（製品について）</b> InSight-FD アプリケーションのバージョン番号、シリアル番号、および著作権データが表示されます。
4	<b>Exit（終了）メニュー</b> ユーザーは、アプリケーションからログアウトまたは終了することができます。
5	画面の最小化
6	画面の最大化
7	アプリケーション画面を閉じます（利用不可）
8	<b>Help（ヘルプ）</b> 画面を利用するためのヘルプが表示されます。
9	画像の取り込みセッションを開始します（64 ページの <a href="#">セクション 16.4 画像の取り込みセッション</a> ）
10	画像レビューセッションを開始します（78 ページの <a href="#">セクション 16.5.2 レビュー画面</a> ）
11	アプリケーションを終了してシステムをシャットダウンします。

図 28 System Configuration (システム設定) プルダウンメニュー

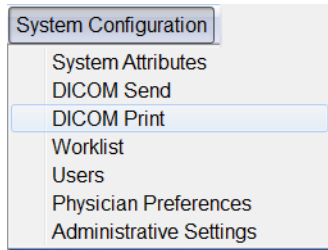


表 28 システム設定メニュー

機能	説明
System Attributes (システムの属性)	管理者は以下の操作が可能です。組織名の入力、アプリケーションが使用するデフォルトの医師名の選択、デフォルトの言語の選択、DICOM アプリケーション情報の入力、および画像の削除時に表示される警告メッセージの確認。 システム情報はすべてのユーザーが閲覧可能です。 36 ページの <a href="#">セクション 15.2 システム</a>
DICOM Send (DICOM 送信)	[DICOM Send] (DICOM 送信) オプションがインストールされている場合に表示されます。 管理者は、送信先を追加、編集、削除、有効化 / 無効化できます。 宛先リスト、宛先情報、および ping の宛先は、すべてのユーザーが閲覧可能です。 39 ページの <a href="#">セクション 15.3 DICOM 送信のオプション</a>
DICOM Print (DICOM 印刷)	[DICOM Print] (DICOM 印刷) オプションがインストールされている場合に表示されます。 管理者は、印刷先を追加、編集、削除、有効化 / 無効化できます。 宛先リスト、宛先情報、および ping の宛先は、すべてのユーザーが閲覧可能です。 39 ページの <a href="#">セクション 15.3 DICOM 送信のオプション</a>
Worklist (ワークリスト)	Worklist (ワークリスト) オプションがインストールされている場合に表示されます。 管理者はソースを追加または設定することができます。 ソース情報およびソースへの ping は、すべてのユーザーが閲覧可能です。 43 ページの <a href="#">セクション 15.4 ワークリスト設定</a>

表 28 システム設定メニュー（続き）

機能	説明
Users（ユーザー）	<p>InSight-FD 内のすべてのユーザー権限は Windows ユーザーアカウントで管理されます。管理者は以下の操作が可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新しいユーザーマッピングの追加</li> <li>• 既存のユーザーデータ、ステータス（有効 / 無効）、および権限設定の編集</li> <li>• ユーザーマッピングの削除。</li> </ul> <p>システムに登録されたユーザーリストは、すべてのユーザーが閲覧可能です。</p> <p>41 ページの<a href="#">セクション 15.3.1 DICOM 印刷オプション</a></p>
Physician Preferences（医師の設定）	<p>管理者は登録された医師のリストの管理、およびデフォルトの設定の編集が可能です。</p> <p>システムに登録された医師のリスト、および各医師のデフォルトの設定は、すべてのユーザーが閲覧可能です。</p> <p>43 ページの<a href="#">セクション 15.4 ワークリスト設定</a></p>
Administrative Settings（管理者設定）	<p>管理者は以下の操作が可能です。システム / エラーログの詳細レベルの変更、監査モードのオンとオフの切り替え、タッチ画面の有効化と無効化、前回のシステム設定のバックアップ日の表示、アプリケーションのシャットダウン時にシステムをシャットダウンする機能のオンとオフ。</p> <p>管理者が管理するログファイルの統計情報およびデータは、すべてのユーザーが閲覧可能です。</p> <p>55 ページの<a href="#">セクション 15.9 Administrative Settings（管理者設定）</a> ページ</p>

図 29 Tools（ツール）プルダウンメニュー

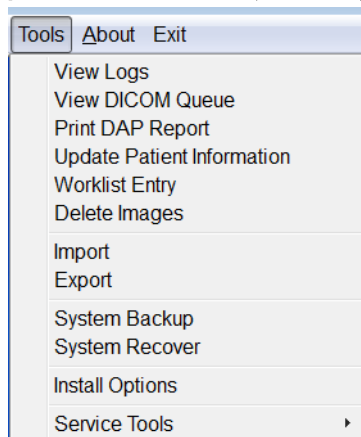




表 29 Tools (ツール) メニュー


機能	説明
View Logs (ログを表示)	アプリケーションが保持するさまざまなログファイルの表示、印刷、エクスポート、場合によっては編集が可能です。
View DICOM Queue (DICOM キューを表示)	[DICOM Send] (DICOM 送信) オプションがインストールされている場合に表示されます。 [DICOM Send] (DICOM 送信) 要求のステータスの表示、および選択した要求の再試行や削除をします。93 ページの <a href="#">セクション 16.11 View DICOM Queue (DICOM キューの表示) ウィンドウ</a>
Print DAP Report (DAP レポートを印刷)	「Dose Area Product report」(面積線量レポート) の表示、および印刷します。  DAP レポートの表示画面で [DICOM Send] をクリックし、DAP レポートを DICOM の宛先に送信します。送信画像と一緒に DAP レポートを添付するには、DAP レポートを選択して送信画像に含める必要があります。DAP レポートを選択しなかった場合、画像のみが送信されます。
Update Patient Information (患者情報の編集)	管理者は選択した患者の検査に関する患者の情報を更新できます。82 ページの <a href="#">セクション 16.6.1 [Update Patient Study Information] (患者の検査情報の更新) ウィンドウ</a>
Worklist Entry (ワークリストのエントリ)	サーバー接続なしでワークリストの設定ができます (91 ページの <a href="#">セクション 16.9 ワークリストのエントリ</a> )。
Delete Images (画像の削除)	管理者は選択した画像をシステムから削除できます。91 ページの <a href="#">セクション 16.10 Delete Images (画像の削除) ウィンドウ</a>
Import (インポート)	リムーバブルメディアから選択した画像をシステムにインポートします。88 ページの <a href="#">セクション 16.8 Import Images (画像のインポート) ウィンドウ</a>
Export (エクスポート)	システムから選択した画像をリムーバブルメディアにエクスポートします (表 46)。
System Backup (システムバックアップ)	システム設定とキャリブレーションデータを外部メディアにバックアップします。
System Recover (システム復旧)	管理者はシステム設定およびキャリブレーションデータを外部メディアから復旧できます。

表 29 Tools (ツール) メニュー (続き)

機能	説明
Install Options (オプションのインストール)	管理者はアプリケーションソフトウェアのオプションをインストールできます。
Service Tools (サービスツール) – SMPTE Pattern (SMPTE パターン)	管理者はテストパターンを開いて、パフォーマンスや品質の確認および監視することができます。

## 16.3 X線ヘッド制御パネル

表 30 X線ヘッド制御パネル




記号	ラベル	機能
	Save (保存)	選択した画像またはシネループを患者のレコードに保存します。 保存されている画像の枚数やシネループの分数が保存上限を超えると、メッセージが表示されます。
	Rotate (回転)	画像を時計回りまたは反時計回りに回転させます。1回押すと10度回転します。長押しすると、連続で回転します。

表 30 X線ヘッド制御パネル (続き)

記号	ラベル	機能
	B/C (輝度 / コントラスト)	画像の輝度とコントラストを調整できます。
	X-ray (X線)	X線写真を撮影します。スイッチを1回押すと、X線が作動します。 モニターの上にある黄色のインジケータランプは、X線が発生していることを示します。
	Laser (レーザー)	位置決めレーザーをオンにします。* *[Laser] (レーザー) ボタンを10秒長押しすると、位置決めレーザーがオンのままになります。システムの電源を切ると、このオプションはリセットされます。
	Noise Suppression (ノイズ抑制)	画像の取り込み時に使用するノイズ抑制設定を切り替えます。
	kV/mA	選択したモードの技術的係数を増減させます (48 ページの表 22 Physician Preferences (医師の設定)、Image Acquisition (画像の取り込み) タブ、セクション / フィールドの説明)。  出力増ボタンと出力減ボタンを同時に押すと、システムが [Auto Power] (オートパワー) モードに戻ります。
	Mode (モード)	Acquisition Mode Selection (取り込みモードの選択) は次の順に切り替わります。 [Continuous] (連続) - X線の作動時に、連続画像を表示します。 [Snapshot] (スナップショット) - X線の作動時に、画像を1枚キャプチャして表示します。 [Cine Record] (シネ録画) - 取り込んだすべての画像をまとめてシネループにします。 [Continuous] (連続) モードや [Snapshot] (スナップショット) モードは、無効にすることもできます (46 ページのセクション 15.5 Physician Preferences (医師の設定))。

## 16.4 画像の取り込みセッション

### 16.4.1 Select or Enter Patient（患者の選択または入力）ウィンドウ

アクセス方法は以下のとおりです。[Main]（メイン）画面から [Perform]（実行）をクリックし、[Image Acquisition]（画像の取り込み）画面から [Update Patient]（患者の更新）をクリック、および画像の取り込みセッション時に [Review]（レビュー）画面から [Update Patient]（患者の更新）をクリックする。

画像の取り込み前に患者情報を入力していなかった場合、画像は一時的な患者のレコードに関連付けられません（Temp Temp）。

図 30 Select or Enter Patient（患者の選択または入力）ウィンドウ

Patient Information (\*Required Field)

Smith Donna M  
\*Patient Last Name Patient First Name MI  
1234567 8059680426095570 Female  
\*Patient ID Accession Number Sex  
Test Sample Date of Birth Clear All  
Study Description 06 3 2017 Save to Worklist  
Month Day Year

Physician's Preferences  
temp.g  
Physician Name  
Visiting Physician  
Last Name  
First Name

Select patient from Worklist

Last Name	First Name	MI	Patient ID	Sex	DOB	Accession #	Study Description	Study Date
-----------	------------	----	------------	-----	-----	-------------	-------------------	------------

Query Detail Query Patient Details

Perform Review End Session Apply Changes Cancel

表 31 Select or Enter Patient（患者の選択または入力）ウィンドウ、セクション/  
フィールドの説明

セクション/ フィールド	機能
Patient Information (患者情報)	現在の患者を識別します。データはユーザーが入力するか、[Select Patient from]（患者の選択元）の選択リストから選択したデータが入力されるかのいずれかです。[Clear All]（すべてクリア）をクリックすると、患者情報フィールドをクリアします。
Physician's Preferences (医師の設定)	システムに登録された医師の選択ボタンとドロップダウンリストです。
Visiting Physician (往診医師)	システムに医師が登録されていない場合に使用する、医師名の選択ボタンおよび入力フィールドです。

表 32 Select or Enter Patient（患者の選択または入力）ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
Clear All (すべてクリア)	[Patient Information]（患者の情報）フィールドをクリアします。
Perform（実行）	[Image Acquisition]（画像の取り込み）画面を表示します。
Review (レビュー)	[Review]（レビュー）画面を表示します。
Save To Worklist (ワークリストに 保存)	この患者をワークリストのエントリに手動で追加します。
End Session (セッションを終了)	患者情報の入力を終了して、[Select or Enter Patient]（患者の選択または入力）画面から移動します。
Apply Changes (変更を適用)	[Select or Enter Patient]（患者の選択または入力）画面から移動せずに変更を入力します。
Cancel (キャンセル)	[Select or Enter Patient] 画面から移動せずに変更をキャンセルします。

16.4.2 Image Acquisition (画像の取り込み) 画面

図 31 Image Acquisition (画像の取り込み) 画面

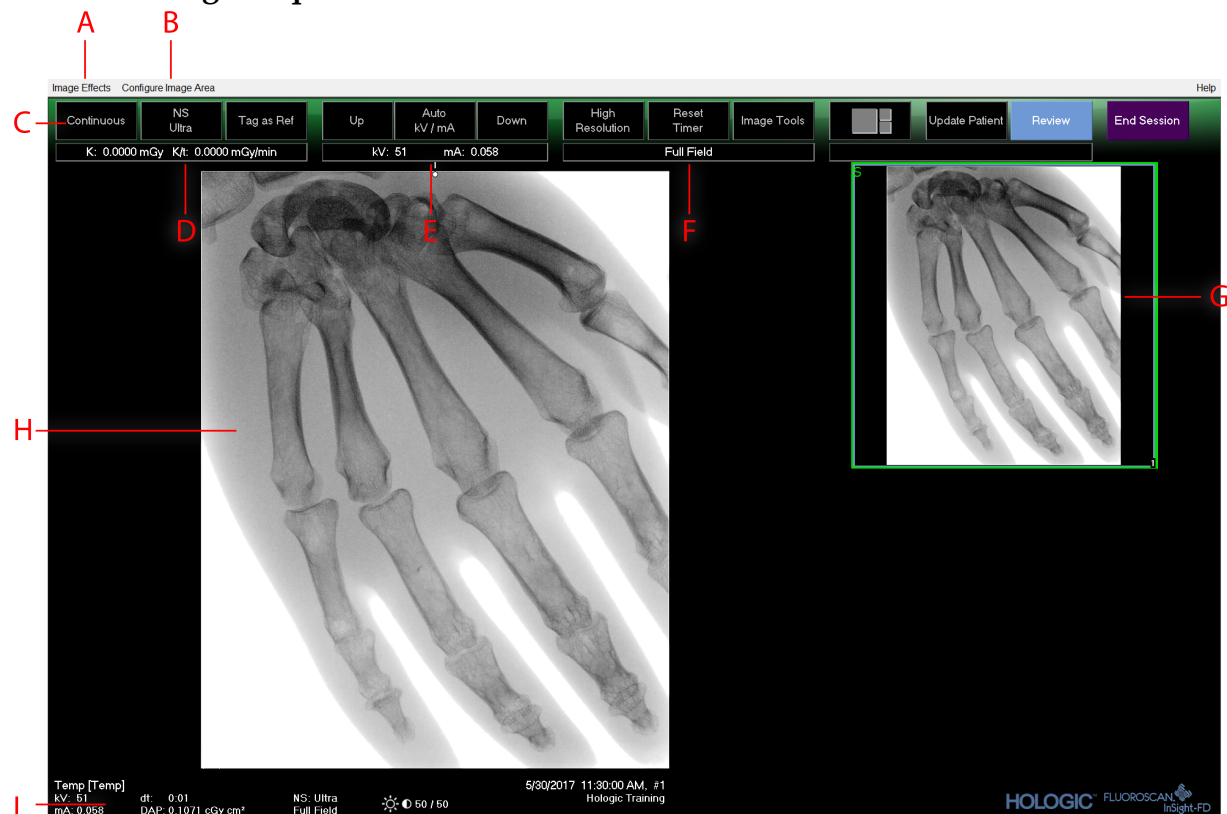


表 33 Image Acquisition (画像の取り込み) 画面

A	Image Effects (画像の効果) メニュー (表 34)
B	Configure Image Area (画像エリアの設定) メニュー (表 36)
C	ファンクションボタン (表 37)
D	X線管が動作中の AKR および累積空気カーマを表示します。空気カーマは CMOS 検出器の入り口の 2 cm 上で計算されます。
E	現在の電源設定を表示します。
F	視準モードを表示します。[Limited Field] (限定視野) は小さなエリアを拡大します。[Full field] (全体視野) は大きなエリアを表示します。[collimation] (視準) スイッチを動かして、フィールドを切り替えることができます。[collimation] (視準) スイッチは X 線ヘッドの下にあります (19 ページの <a href="#">セクション 11 システム構成部品</a> )。
G	ツールセットの説明用のフィルムストリップ / ツールエリア (表 38)。

表 33 Image Acquisition (画像の取り込み) 画面 (続き)

H	画像エリア *
I	累積 DAP を表示します。

\*X 線がオンで X 線が発生している場合、表示される画像は現在の透視画像になります。X 線が終了すると、シネモードが有効な場合を除き、画像はラストイメージホールド (LIH) になります。

図 32 Image Effects (画像の効果) メニュー

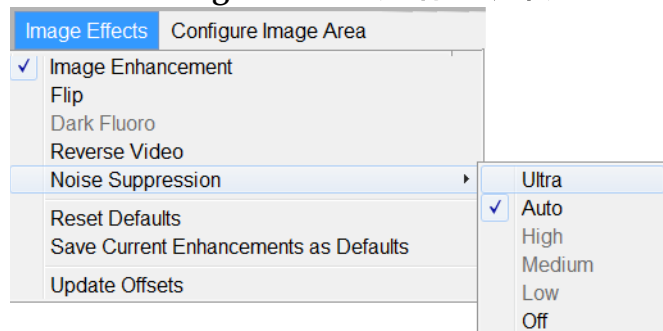


表 34 Image Effects (画像の効果) メニュー

機能	説明
Image Enhancement (画像のエンハンス処理) *	図 44 の [Image Enhancement] (画像のエンハンス処理) フィールドで設定されたエッジおよびシャープの設定により、画像がエンハンス処理されます。
Flip (反転) *	ユーザーが表示する前に画像が反転します。
Dark Fluoro (黒色透視画像) *	白色の画像ピクセルを黒色に変えます。
Reverse Video (ビデオの白黒反転) *	画像は白黒反転します (黒色が白色に、白色が黒色に変化)。
Noise Suppression (ノイズ抑制)	ノイズ抑制レベルを選択します。選択項目は、[Ultra] (ウルトラ)、[Auto] (自動)、[High] (高)、[Medium] (中)、[Low] (低)、および [OFF] (オフ) です。 デフォルトの設定については、46 ページの <a href="#">セクション 15.5 Physician Preferences (医師の設定)</a> を参照してください。
Reset Defaults (デフォルトにリセット)	画像のエンハンス処理、反転、黒色透視画像、ビデオの白黒反転、およびノイズ抑制設定を現在の医師の設定で指定されたデフォルト設定、または往診医師の場合はシステムのデフォルト設定にリセットします。

表 34 Image Effects (画像の効果) メニュー (続き)

機能	説明
Save Current Enhancements as Defaults (現在のエンハンス処理をデフォルトとして保存)	選択した医師がシステムに登録されている場合、有効化されます。現在の画像の効果の設定を、選択した医師の設定として保存します。
Update Offsets (オフセットの更新)	フラットフィールド補正のオフセットを更新します。

\* 無効化、初めからチェック、または初めからチェック解除を選択できます。  
 ( 46 ページのセクション 15.5 *Physician Preferences* (医師の設定) )

### 16.4.3 フィルムストリップの記号

次の記号は InSight ソフトウェアのフィルムストリップ / サムネイル画像に表示されます。

図 33 フィルムストリップの記号

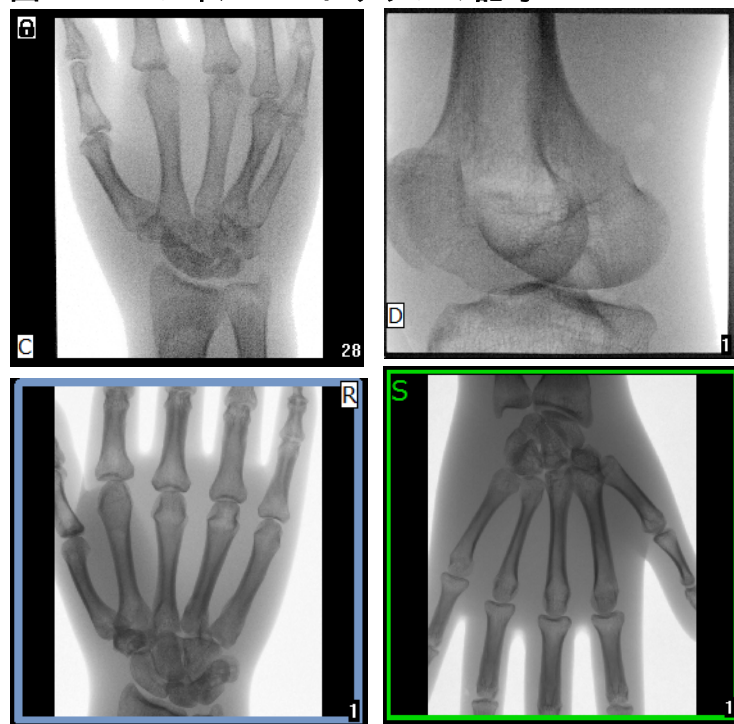





表 35 フィルムストリップの記号

インジケータ	識別内容
C	シネループ
D	DICOM 保存委託
R	参照画像
S	保存済み（画像の周囲の緑色の輪郭で識別）
	ロック中の画像（削除不可）

\* ロックアイコンは、[Review]（レビュー）画面で表示可能で、ロックアイコン列の下のボックスを選択します。検査と画像はロックされます。

図 34 Configure Image Area（画像エリアの設定）メニュー

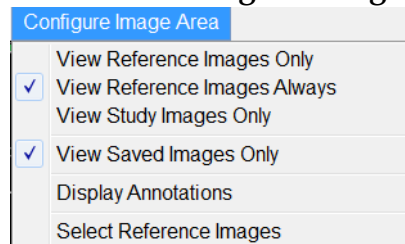


表 36 Configure Image Area（画像エリアの設定）メニュー

機能	説明
<b>View Reference Images Only（参照画像のみ表示）</b>	参照画像としてタグが付けられた画像のみフィルムストリップに表示します。これには、現在のセッション中に参照としてタグ付けされた画像や現在の患者の過去の検査から選択された参照画像が含まれます。
<b>View Reference Images Always（常に参照画像を表示）</b>	参照としてタグが付けられた画像を常にフィルムストリップの上部に表示し、次に現在の患者の過去の検査から選択された参照画像を表示し、その後に現在のセッションで取り込んだ非参照画像を逆の順序で表示します。
<b>View Study Images Only（検査画像のみ表示）</b>	現在のセッションで取り込んだ（参照および非参照）画像のみフィルムストリップに表示します。
<b>View Saved Images（保存画像を表示）</b>	[Configure System Images]（システム画像の設定）メニューから [View Saved Images]（保存画像を表示）を選択すると、保存された画像のみフィルムストリップに表示します。

表 36 Configure Image Area (画像エリアの設定) メニュー

機能	説明
Display Annotations (注釈を表示)	ライブの画像エリアに表示する画像の注釈を表示します。
Select Reference Images (参照画像の選択)	[Select Reference Images] (参照画像の選択) ウィンドウを表示すると、ユーザーはシステムに存在する現在の患者のすべての検査から画像を選択することができます。 [View Study Images Only] (検査画像のみ表示) にチェックがある場合を除き、選択された画像はフィルムストリップに配置され、次に現在のセッション中に取り込んだ参照画像が配置されます。

図 35 Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン

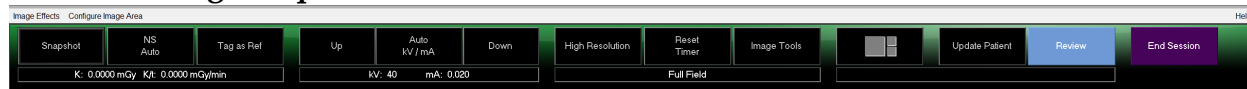


表 37 Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン、ボタンの機能




ボタン	画像	機能
Acquisition Mode Selection (取り込みモードの選択)		以下を切り替えます。 Continuous (連続) - X線の作動時に、連続画像を表示します。 Snapshot (スナップショット) - X線の作動時に、画像を1枚キャプチャして表示します。 Cine Record (シネ録画) - 取り込んだすべての画像をまとめてシネループにします。 [Continuous] (連続) モードや [Snapshot] (スナップショット) モードは無効にすることもできます (46ページの <a href="#">セクション 15.5 Physician Preferences (医師の設定)</a> )。)
NS (ノイズ抑制)		設定時に選択されたレベルを切り替えます。46ページの <a href="#">表 20 Physician Preferences (医師の設定)</a> 、 <a href="#">セクション/フィールドの説明</a> を参照してください。 [Ultra] (ウルトラ) を選択すると完全に静止した被写体の画像を取り込みます。[Ultra] (ウルトラ) レベルのイメージングの画像処理は高いノイズ抑制でフレームを平均化します。
Tag as Ref (参照としてタグ付け)		現在のセッションの画像を参照画像としてマークする、またはマークされた画像のマークを解除します。

表 37 Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン、ボタンの機能 (続き)

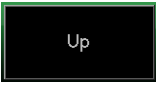


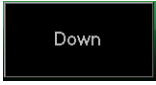
ボタン	画像	機能
Up (アップ)		kV および / または mA を 1 ずつ段階的に増やします。
X-ray Power Adjustment Selection (X線パワーの調整の選択) Auto kV/mA (自動 kV/mA) Auto IQ kV/mA (自動 IQ kV/mA) Manual kV/mA (手動 kV/mA) Manual kV (手動 kV) Manual mA (手動 mA) Low Dose (低線量)		<p>以下を切り替えます。</p> <p><b>オートモード</b> Auto kV/mA (自動 kV/mA) - 自動的に kV/mA を調整します。 Auto IQ kV/mA (自動 IQ kV/mA) - 自動的に kV/mA を調整します。 [Auto IQ] (自動 IQ) モードを選択すると、明瞭度が向上してノイズが減少した、エンハンス処理された画像を取り込みます。[Auto IQ] (自動 IQ) モードを使用すると、患者への X 線量が増加します。ALARA に従い、エンハンス処理された明瞭度が必要な場合に [Auto IQ] (自動 IQ) を使用します。</p> <p><b>低線量モード</b> Low Dose (低線量) - 自動的に kV/mA を調整します。 低線量モードを選択すると、低線量で画像を取り込みますが、被写体ぶれの影響が増加します。</p> <p><b>手動モード</b> Manual kV/mA (手動 kV/mA) - [simultaneous kV/mA] (kV/mA の連動) * が有効な場合、ユーザーは手動で kV/mA を増減することが可能です。 Manual kV (手動 kV) - [simultaneous kV/mA] (kV/mA の連動) * が無効な場合、ユーザーは手動で kV を増減することが可能です。 Manual mA - [simultaneous kV/mA] (kV/mA の連動) * が無効な場合、ユーザーは手動で mA を増減することが可能です。 *[simultaneous kV/mA] (kV/mA の連動) の有効化と無効化については 46 ページの <a href="#">セクション 15.5 Physician Preferences (医師の設定)</a> を参照してください。</p>
Up (アップ)		kV および / または mA を 1 ずつ段階的に増やします。
Down (ダウン)		kV および / または mA を 1 ずつ段階的に減らします。

表 37 Image Acquisition (画像の取り込み) 画面のボタン、ボタンの機能 (続き)



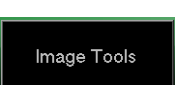









ボタン	画像	機能
Resolution Mode (解像度モード)		[Resolution Mode] (解像度モード) ボタンをクリックして、[High Resolution Mode] (高解像度モード) * と [Standard Resolution] (標準解像度) を切り替えます。 *[High Resolution Mode] (高解像度モード) は、[Standard-Resolution Mode] (標準解像度モード) と比較して高い線量でより詳細にキャプチャしますが、被写体ぶれの影響が増加します。[Zoom] (ズーム) ツールを使用して高解像度の画像を詳細に表示します。
Reset Timer (タイマーをリセット)		X線の警告タイマーをゼロにリセットしてアラームの鳴動をオフにします。
Image Tools (画像ツール)		フィルムストリップ / ツールエリアのツールセットを表示または非表示にします。
Format Toggle (フォーマットの切り替え)		現在の画像サイズと、フィルムストリップエリアに表示するサムネイル画像の数を選択します。
		1枚のフィルムストリップ画像。
		2枚のフィルムストリップ画像。
		3枚のフィルムストリップ画像。
		4枚のフィルムストリップ画像。
Update Patient (患者の更新)		[Select or Enter Patient] (患者の選択または入力) ウィンドウに戻ります。
Review (レビュー)		[Review Images] (画像のレビュー) 画面を表示します。
End Session (セッションを終了)		現在の患者の取り込みセッションを終了します。 [Main] (メイン) 画面に戻ります。

表 38 ツールセット

ボタン	機能
Zoom (ズーム)	現在の画像を2倍に拡大します。拡大された画像は、画像の別のエリアを閲覧するために、マウスやタッチ画面でドラッグしてパンすることができます。 [Pinch to Zoom] (ピンチしてズーム) タッチ画面を使用して画像を拡大・縮小することができます - 外側にピンチするとズームになり、内側にピンチすると画像が縮小して通常のサイズになります。
Free Rotate (自由に回転)	マウスやタッチ画面を使用して画像を自由に回転できます。
Enhance (エンハンス処理) *	表 38 で選択された [Image Enhancement] (画像のエンハンス処理) 設定に基づいて、画像に対してエンハンス処理を適用 / 適用解除します。
Flip (反転) *	画像の中央を中心に画像を水平方向に反転 / 反転を解除します。
Reverse Video (ビデオの白黒反転) *	画像に対して [Reverse Video] (ビデオの白黒反転) を適用 / 適用解除します (黒色が白色に、白色が黒色に変化)。
Dark Fluoro (黒色透視画像) *	画像に対して [Dark Fluoro] (黒色透視画像) を適用 / 適用解除します (白色の画像ピクセルが黒色に変化)。
Rotate Left (左に回転)	画像を時計と反対回りに10度ずつ回転します。
Rotate Right (右に回転)	画像を時計回りに10度ずつ回転します。
Reset All (すべてリセット)	画像に対して処理しているすべてのイメージを、前回保存した画像の状態にリセットします。
Annotations (注釈)	ユーザーが、マーカーやテキストを画像に追加できる、または選択したマーカーやテキストを画像から削除できるファンクションボタンやフィールドを含みます。 注釈はマウスやタッチ画面を使用して移動したり削除したりすることができます。 注釈を削除するには、注釈を選択してから [Delete] (削除) をクリックします。 注釈には以下が含まれます。AP、PA、Lat、Obl_Lat、左、右、テキスト (画像上のテキストボックスにテキストを配置します)。

表 38 ツールセット (続き)

ボタン	機能
Brightness/ Contrast (輝度/ コントラスト)	選択した画像の輝度とコントラストを調整できます。 

\*このボタンはオン、オフ、または無効化することができます (46 ページの [セクション 15.5 Physician Preferences \(医師の設定\)](#))。

#### 16.4.4 Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ

[Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面から、[Configure Image Area] (画像エリアの設定) メニューに移動して、[Select Reference Images] (参照画像の選択) を選択してアクセスできます。

図 36 Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ

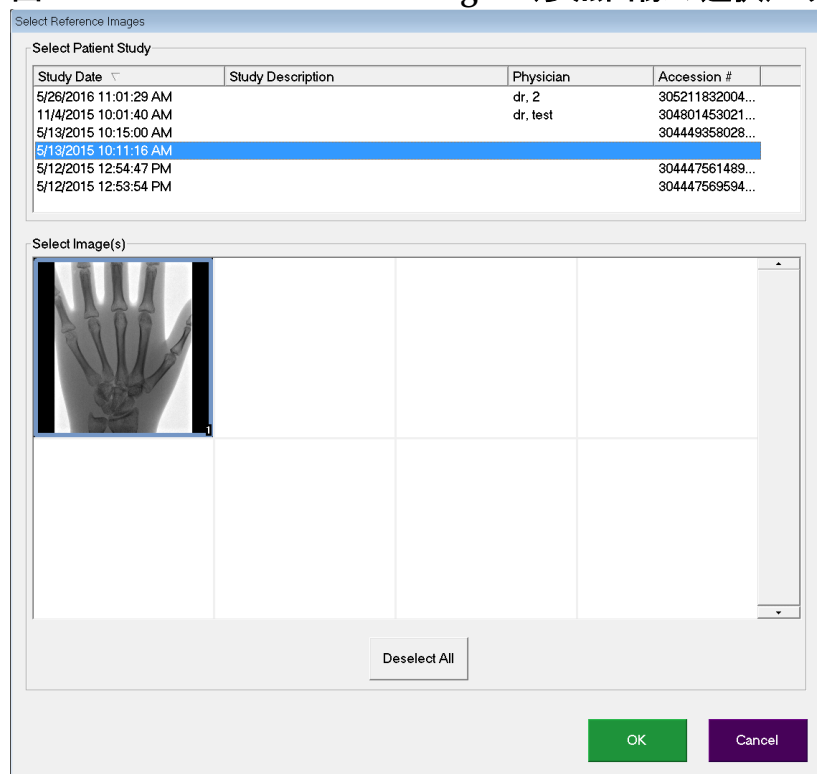


表 39 Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ、セクションの説明

セクション	説明
Select Patient Study (患者の検査を選択)	システムに保存されている現在の患者の過去の検査の選択リストです。 各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。[Find] (検索) セクションの入力フィールドのラベルが変更され、選択された並び替え列と一致します。
Select Image(s) (画像を選択)	選択した患者 / 検査ファイルに含まれるサムネイル画像の選択リストです。 選択された画像が強調表示されます。複数の画像を選択できます。 [Select All] (すべて選択) または [Deselect All] (すべて選択解除) をクリックすると、すべての画像を選択 / 選択解除できます。フィルムストラップのレイアウトにすべての画像が表示できない場合、スクロールバーが表示されます。

表 40 Select Reference Images (参照画像の選択) ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
Select All/ Deselect All (すべて選択 / すべて削除)	画像の選択リストですべての画像を選択または選択解除します。
OK	[Configure Image Area] (画像エリアの設定) メニューの [View Study Images Only] (検査画像のみ表示) にチェックがない場合、選択されたすべての画像は [Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面のフィルムストリップに戻されます。
Cancel (キャンセル)	すべての画像を [Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面に戻さずにウィンドウを閉じます。

## 16.5 Review Images Session (画像セッションのレビュー)

### 16.5.1 [Select Study for Review] (レビューする検査を選択) ウィンドウ

[Main] 画面から [Review] をクリックして、レビューセッション中に [Review] 画面から [Select Patient] (患者を選択) をクリックしてアクセスできます。



**注記**

ワイド画面モニターでは、検査を1つ選択すると、画像はモニター画面の右側の1列に上下に表示されます。

図 37 Study for Review (レビューする検査)

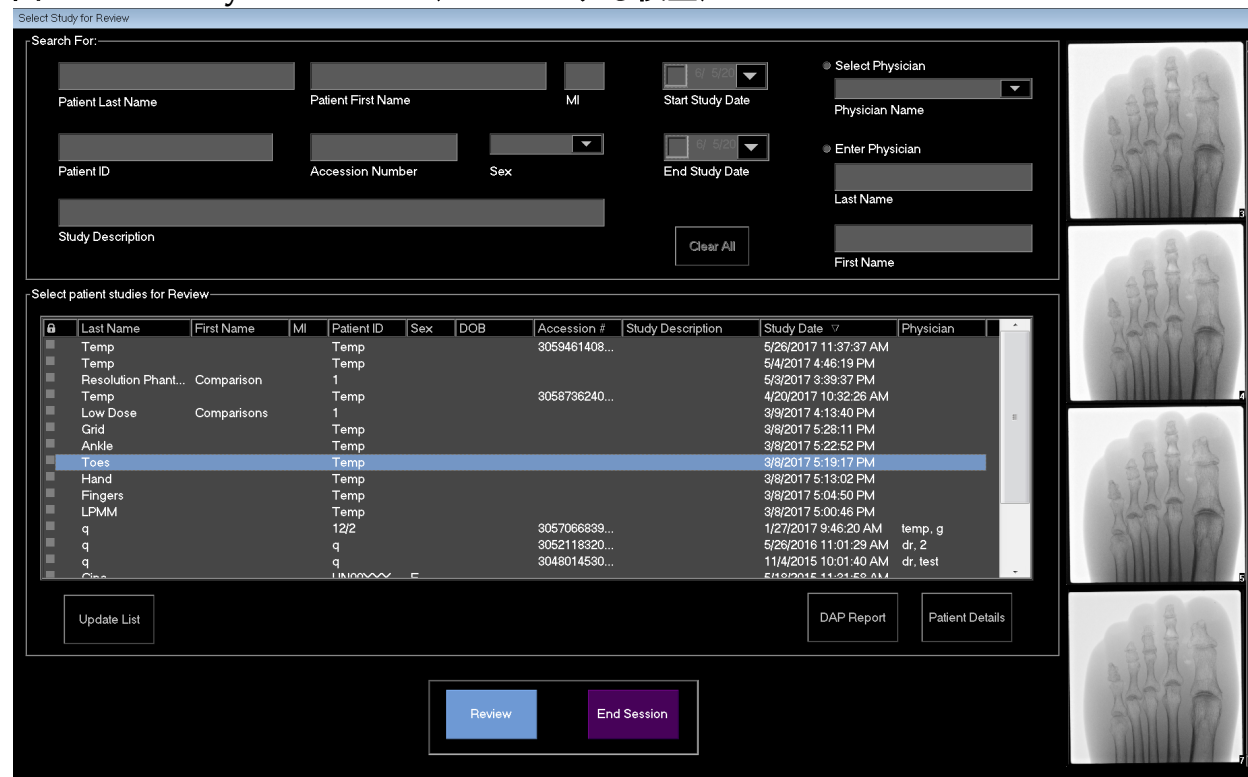



表 41 [Study for Review] ウィンドウ、セクション/フィールドの説明

セクション/ フィールド	説明
Search For (検索対象)	検索条件の入力フィールド 検索条件として [Start Study Dates] (検査開始日) / [End Study Dates] (検査終了日) を使用するには、チェックボックスにチェックを入れる必要があります。各チェックボックスにチェックを入れるには、ボックスをクリックする、日付フィールドに日付を入力する、または下向き矢印をクリックしたときに表示されるカレンダーページから日付を選択する必要があります。
Select Physician (医師の選択)	システムに登録された医師の選択ボタンとドロップダウンリストです。
Enter Physician (医師の入力)	医師名の選択ボタンと2つの入力フィールドです。システムに登録されていない医師名の場合に使用します。
Select Patient Studies for Review (レビューする患者の検査を選択)	システム上のすべての患者 / 検査レコードの選択リストです。選択リストは、[Search For] (検索方法) セクションで1つ以上のフィールドを入力した後、[Update List] (リストの更新) をクリックしてフィルタリングできます。各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。複数の検査の選択が可能です。



表 42 Select Study for Review (レビューする検査を選択) ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
Clear All (すべてクリア)	[Search For] (選択方法) セクションのすべてのエントリをクリアします。
Update List (リストの更新)	[Select Study for Review] (レビューする検査を選択) セクションリストを [Search For] (検索方法) セクションの条件を使用して更新して、リストを絞り込みます。すべての [Search For] (検索方法) パラメータが空の場合、システム内のすべての検査のリストが取得されます。
DAP Report (DAP レポート)	<p>選択した患者の DAP レポートを表示します。</p>  <p>DAP レポートの表示画面で [DICOM Send] (DICOM 送信) をクリックし、DAP レポートを DICOM の宛先に送信します。送信画像と一緒に DAP レポートを添付するには、DAP レポートを選択して送信画像に含める必要があります。DAP レポートを選択しなかった場合、画像のみが送信されます。</p>
Patient Details (患者の詳細)	選択された検査が 1 つのみの場合に有効化されます。患者情報を表示します。
Review (レビュー)	[Review] (レビュー) 画面を表示します [Review] (レビュー) ボタンを有効化するには、少なくとも 1 つの検査を選択する必要があります。
End Session (セッションを終了)	レビューセッションを終了します。

## 16.5.2 レビュー画面

[Image Acquisition]（画像の取り込み）ウィンドウから [Review]（レビュー）をクリックし、[Select Study for Review]（レビューする検査を選択）ウィンドウからアクセスできます。

図 38 Review Images（画像のレビュー）画面

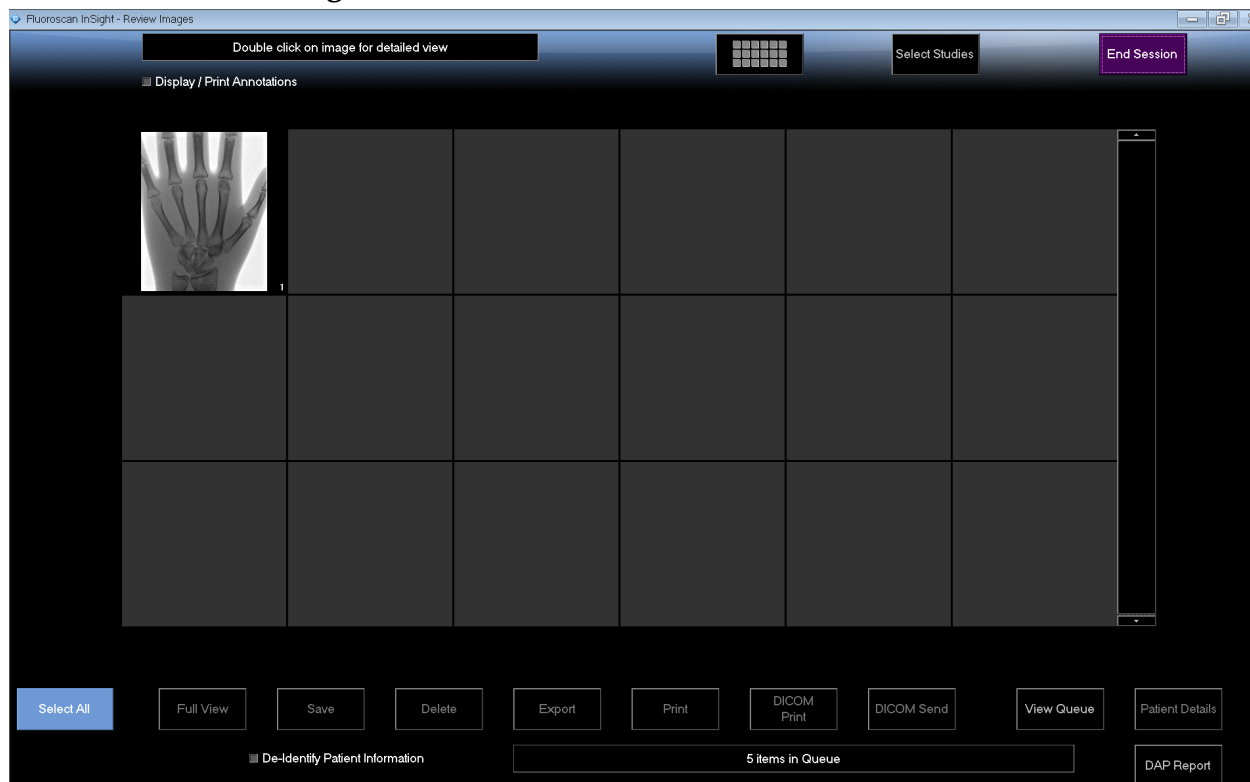


表 43 Review（レビュー）画面、ボタンの機能




ボタン	機能
Display Mode Selection（表示モードの選択）	 2枚の画像の1行を表示します。
	 4枚の画像の2行を表示します。
	 6枚の画像の3行を表示します。
Select Studies（検査の選択）	レビューする検査を選択します。
Display/Print Annotations（注釈の表示 / 印刷）	表示されている画像の注釈を表示または印刷します。
Display Saved Images Only（保存画面のみを表示）	取り込みセッション中のみ表示されます。保存されている画像のみ表示します。

表 43 Review (レビュー) 画面、ボタンの機能 (続き)

ボタン	機能
Select/Deselect All (すべて選択 / すべて選択解除)	以下を切り替えます。 [Select All] (すべて選択) - すべての未選択の画像を選択します。 [Deselect All] (すべての選択解除) - すべての選択された画像の選択を解除します。
Full View (全体表示)	選択した画像を [Enhanced Displayed Image] (画像のエンハンス表示) 画面で表示します。( 81 ページの <a href="#">セクション 16.5.3 Enhanced Displayed Image (画像のエンハンス表示) 画面</a> )
Save (保存)	選択した画像またはシネループを患者のレコードに保存します。保存されている画像の枚数やシネループの分数が保存上限を超えると、メッセージが表示されます。
Delete (削除)	選択した画像を削除します。システム設定の [Query on Delete] (削除時の質問) を有効化している場合、ユーザーは削除の確認を求められます。[Yes] (はい) をクリックして削除を確定し、[No] (いいえ) をクリックすると削除をキャンセルします。
Export (エクスポート)	選択した画像またはシネループをリムーバブルメディアにコピーします。 [De-Identify Patient Information] (患者情報の識別を解除) にチェックを入れると、画像から患者の情報が削除されます。
Print (印刷)	選択した画像をローカルプリンタで印刷します。 [Display/Print Annotations] (注釈の表示 / 印刷) にチェックを入れると、画像は注釈付きで印刷されます。[De-Identify Patient Information] (患者情報の識別を解除) にチェックを入れると、画像から患者の情報が削除されます。
DICOM Print (DICOM 印刷)	選択した画像を DICOM ノードプリンタに送信して印刷します。 [Display/Print Annotations] (注釈の表示 / 印刷) にチェックを入れると、画像は注釈付きで印刷されます。[De-Identify Patient Information] (患者情報の識別を解除) にチェックを入れると、画像から患者の情報が削除されます。
DICOM Send (DICOM 送信)	選択した画像を DICOM ノードプリンタに送信します。[De-Identify Patient Information] (患者情報の識別を解除) にチェックを入れると、画像から患者の情報が削除されます。
View Queue (キューを表示)	すべての DICOM 送信要求の状態を表示します ( 93 ページの <a href="#">セクション 16.11 View DICOM Queue (DICOM キューの表示) ウィンドウ</a> )。

表 43 Review (レビュー) 画面、ボタンの機能 (続き)

ボタン	機能
Patient Details (患者の詳細)	患者情報を表示します。[Additional Details] (追加の詳細) をクリックすると、[Vista Dialog] (Vista ダイアログ) が表示されます (図 40)。
DAP Report (DAP レポート)	選択した患者の DAP レポートを表示します。 注記: DAP レポートの表示画面で [DICOM Send] (DICOM 送信) をクリックし、DAP レポートを DICOM の宛先に送信します。
De-Identify Patient Information (患者情報の識別を解除)	特定の患者に関連する患者の健康情報の詳細を除外します。
Update Patient / Select Study (患者の更新 / 検査を選択)	取り込み画面で、[Select or Enter Patient] (患者の選択または入力) ウィンドウに戻り、患者の詳細を表示または更新します。レビューセッションで、[Select Patient for Review] (レビューする患者を選択) ウィンドウに戻り、別の患者の検査を選択します。
Perform (実行)	取り込みセッション中のみ表示されます。 [Image Acquisition] (画像の取り込み) 画面を表示します。
End Session (セッションを終了)	現在のセッションを終了します。

図 39 Patient Details (患者の詳細)

Patient Details

First Name:

Last Name: q

Patient ID: q

Study Description:

Physician:

Accession #:

Birth Date:

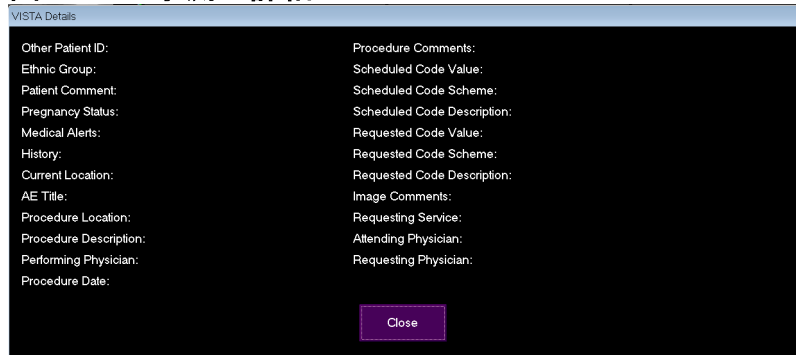
Location:

Date Time: 5/13/2015

Additional Data

Close

図 40 予測の詳細



### 16.5.3 Enhanced Displayed Image (画像のエンハンス表示) 画面

[Review Images] (画像のレビュー) 画面から画像を1つ選択して [Full View] (全体表示) をクリックするか、画像をダブルクリックすると利用できます。

図 41 Enhanced Displayed Image (画像のエンハンス表示) 画面



ツールセットは表 38 に記載のツールセットと同一です。

表 44 Detailed Image Viewing (画像の詳細表示) 画面、ボタンの機能

ボタン	機能
<< (Previous Image) (前の画像)	前の画像を表示します。
Print (印刷)	画像を印刷します。
Delete (削除)	現在表示中の画像を削除します。システム設定の [Query on Delete] (削除時の質問) を有効化している場合、ユーザーは削除の確認を求められます。[Yes] (はい) をクリックして削除を確定し、[No] (いいえ) をクリックすると削除をキャンセルします。
Return (戻る)	[Review] (レビュー) 画面に戻ります。
>> (Next Image) (次の画像)	次の画像を表示します。

## 16.6 患者の検査レコードの運用

### 16.6.1 [Update Patient Study Information] (患者の検査情報の更新) ウィンドウ

管理者は、[Main] (メイン) 画面の [Tools] (ツール) メニューからアクセスできます。

図 42 [Update Patient Study Information] (患者の検査情報の更新) ウィンドウ

Update Patient/Study Information

Select Patient Study

Find  
Study Date

Last Name	First Name	MI	Patient ID	Sex	DOB	Accession #	Study Description	Study Date	Physician
q			q			3059664036...		6/5/2017 1:20:5...	temp. g
Temp			Temp					5/4/2017 4:46:1...	
Resolution P...	Comparison		1					5/3/2017 3:39:3...	
Temp			Temp			3058736240...		4/20/2017 10:32...	
Low Dose	Comparisons		1					3/9/2017 4:13:4...	
Grid			Temp					3/8/2017 5:28:1...	
Ankle			Temp					3/8/2017 5:22:5...	

Update Patient Information

Patient Last Name

Patient First Name

MI

Patient ID

Accession Number

Female

Male

Date of Birth

Month

Day

Year

Study Description


Update

Cancel

表 45 [Update Patient Study Information] (患者の検査情報の更新) ウィンドウ、セクションの説明

セクション	説明
Select Patient Study (患者の検査を選択)	システム上のすべての患者 / 検査レコードの選択リスト、および検索条件セクション ([Find] (検索)) です。各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。[Find] (検索) セクションの入力フィールドのラベルが変更され、選択された並び替え列と一致します。
Find (検索)	患者 / 検査をすばやく検索するために使用します。
Update Patient Information (患者情報の編集)	選択した患者 / 検査レコードからの情報を表示します。

表 46 [Update Patient/Study Information] (患者 / 検査情報の更新) ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
Update (更新)	<p>選択した検査のすべての画像の患者情報を更新します。</p>  <p>注記 Auto-Accession (自動受付) 番号は特定の患者と関連付けられます。患者情報を更新した場合も変更されません。</p>
Cancel (キャンセル)	更新せずにウィンドウを閉じて [Main] (メイン) 画面に戻ります。

## 16.7 Export Images (画像のエクスポート)

[Main] (メイン) 画面の [Tools] (ツール) メニューから、および [Review Images] (画像のレビュー) 画面からアクセスできます。

### 16.7.1 [Review Images] (画像のレビュー) 画面からエクスポート

USB デバイスを使用してエクスポートできます。USB デバイスをシステムの USB ポートに挿入した後、次のステップを実行します。

1. [Review Images] (画像のレビュー) 画面 (図 43) から、エクスポートする画像を選択します。
2. [Export] (エクスポート) をクリックして [Export Images] (画像のエクスポート) ウィンドウを開きます (図 44)。
3. エクスポートのオプションを選択します。[File Type] (ファイルタイプ) および / または [Annotation] (注釈)
4. Export (エクスポート) をクリックします。



図 43 [Review] (レビュー) 画面からの画像のエクスポート

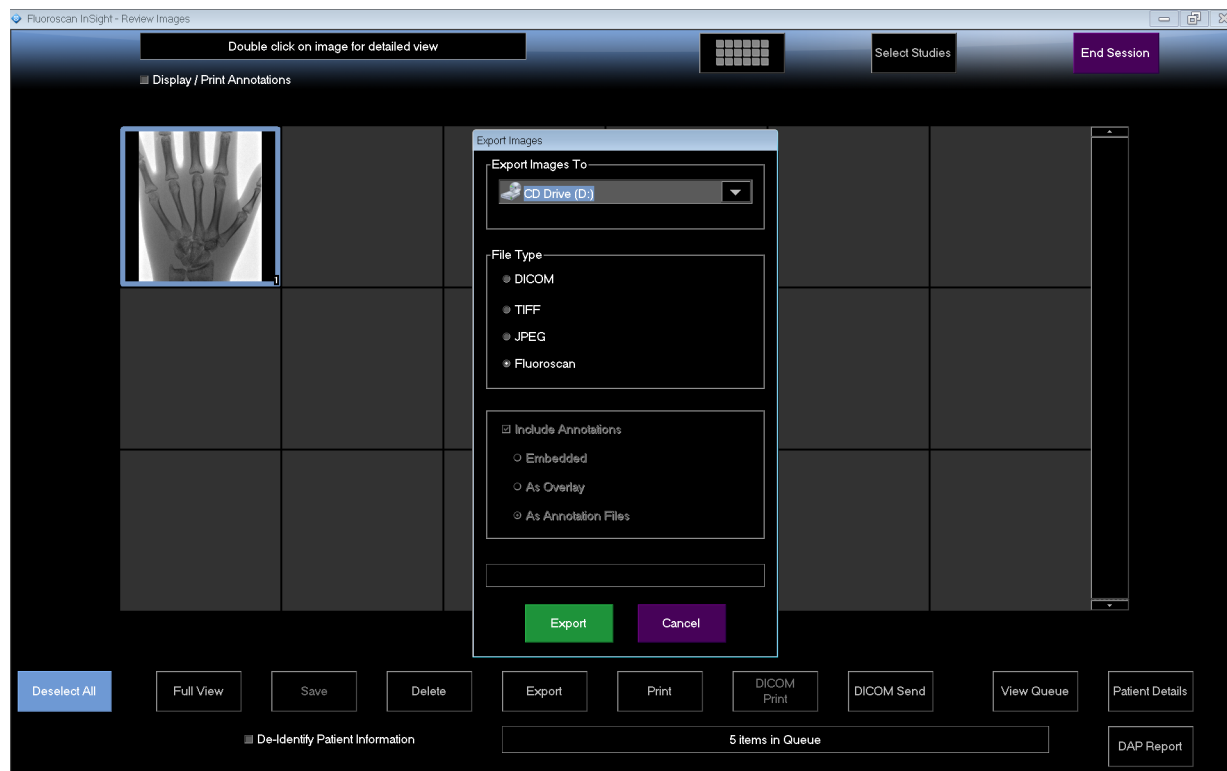
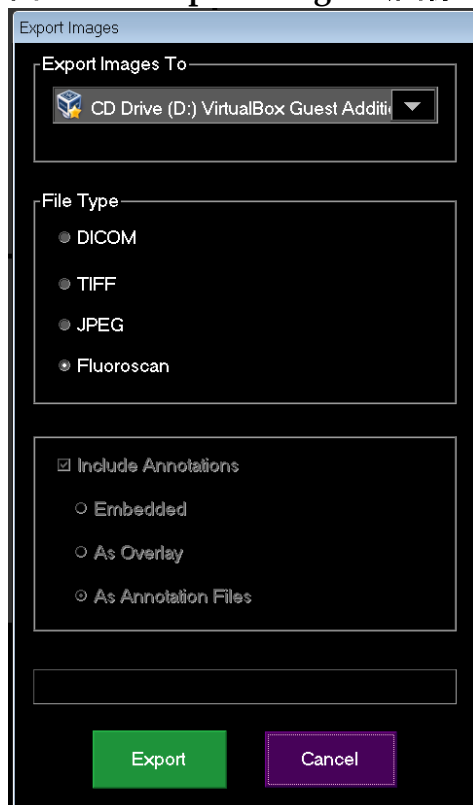


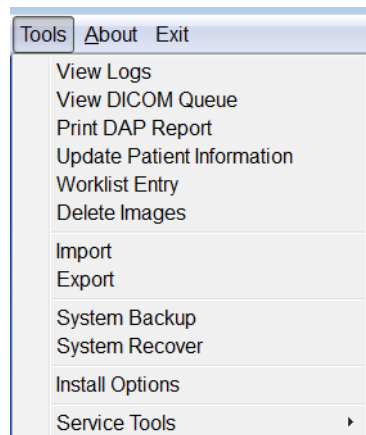
図 44 Export Images (画像のエクスポート) パネル



## 16.7.2 [Review Images]（画像のレビュー）画面からエクスポート

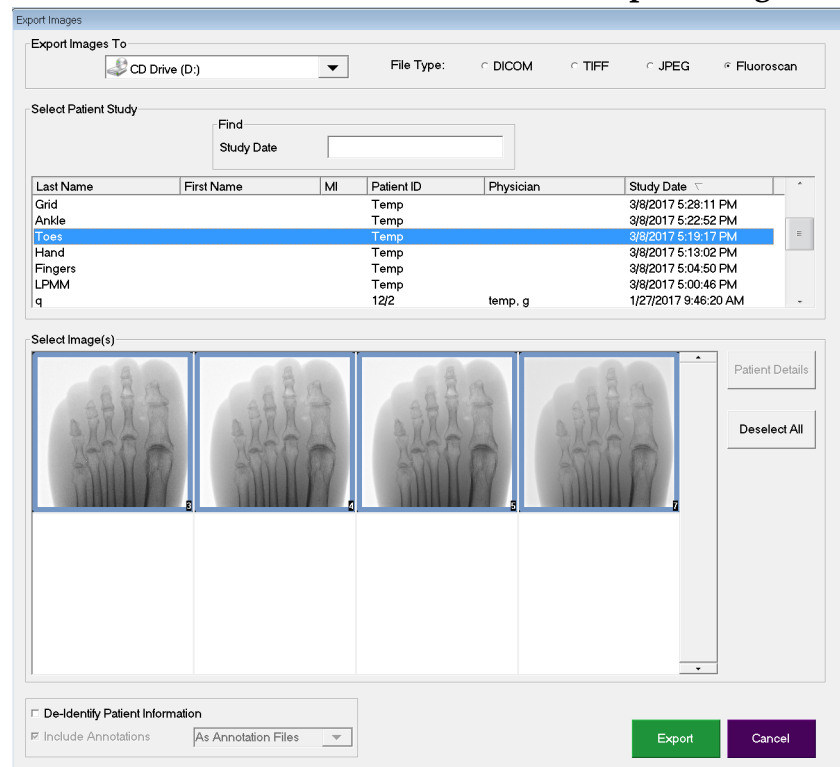
1. [Tools]（ツール）メニュー（図 45）から、[Export]（エクスポート）を選択します。

図 45 [Tools]（ツール）メニューの [Export]（エクスポート）



2. [Export]（エクスポート）をクリックして [Export Images]（画像のエクスポート）ウィンドウを開きます。
3. [Export Images]（画像のエクスポート）ウィンドウ（図 46）で、ファイルエクスポートする検査を選択します。

図 46 [Tools]（ツール）メニューの [Export Images]（画像のエクスポート）



4. [Export] (エクスポート) をクリックして [Export Images] (画像のエクスポート) ウィンドウを開きます。
5. エクスポートする画像およびオプションを選択します。
  - a. エクスポートする画像の選択
  - b. ファイルのエクスポート先
  - c. ファイルの種類
  - d. 患者情報の識別を解除
  - e. 注釈
6. Export (エクスポート) をクリックします。

表 47 Export (エクスポート) ウィンドウ、セクションの説明

セクション	説明
Export Images to (画像のエクスポート先)	システムから現在利用可能なリムーバブルメディアの選択リストです。[Other Locations] (その他の場所) を使用すると、ユーザーはシステムまたはネットワーク上のフォルダを検索できます。
File Type (ファイルの種類)	ファイル形式の選択です。
Select Patient Study (患者の検査を選択)	システム上のすべての患者 / 検査レコードの選択リスト、および検索条件セクション ([Find] (検索)) です。各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。[Find] (検索) セクションの入力フィールドのラベルが変更され、選択された並び替え列と一致します。複数の検査の選択が可能です。検査を 1 つ選択した場合、該当の検査のすべての画像が [Select Images] (画像の選択) セクションに表示されます。複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。
Find (検索)	患者 / 検査をすばやく検索するために使用します。
Select Image(s) (画像を選択)	患者 / 検査を 1 つ選択した場合、画像が表示されます。複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。選択した患者 / 検査ファイルに含まれるサムネイル画像の選択リストです。選択された画像が強調表示されます。複数の画像を選択できます。[Select All] (すべて選択) または [Deselect All] (すべて選択解除) をクリックすると、すべての画像を選択 / 選択解除できます。

表 47 Export (エクスポート) ウィンドウ、セクションの説明 (続き)

セクション	説明
De-Identify Patient Information (患者情報の識別を解除)	チェックを入れると、エクスポートされる画像から患者識別情報が削除されます。
Include Annotations (注釈を含む)	チェックを入れると、エクスポートされる画像に注釈が含まれます。含める方法の選択肢は次のとおりです。 Embedded (埋め込み) - 注釈はビットマップ画像に埋め込まれます。 As Overlay (オーバーレイ) - 注釈は DICOM のオーバーレイとして含まれます。 As annotation files (注釈ファイル) - 注釈は別のファイルとして含まれます。

表 48 [Export] ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
Patient Details (患者の詳細)	画像を 1 枚選択した場合のみ有効化されます。患者情報を表示します。
Select All/Deselect All (すべて選択 / すべて削除)	画像の選択リストですべての画像を選択または選択解除します。
Export (エクスポート)	選択した画像を特定のメディアデバイスに特定の形式でエクスポートします。複数の検査が選択された場合、各検査のすべての画像がコピーされます。画像はシステムから削除されません。
Cancel (キャンセル)	エクスポートせずにウィンドウを閉じて [Main] (メイン) 画面に戻ります。

## 16.8 Import Images (画像のインポート) ウィンドウ

USB デバイスを使用してインポートできます。USB デバイスをシステムの USB ポートに挿入した後、画像をインポートします。

[Main] (メイン) 画面の [Tools] (ツール) メニュー (図 47) から利用できます。

図 47 Tools (ツール) メニュー

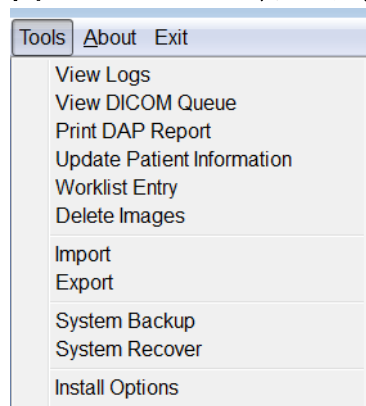


図 48 Import Images (画像のインポート) ウィンドウ

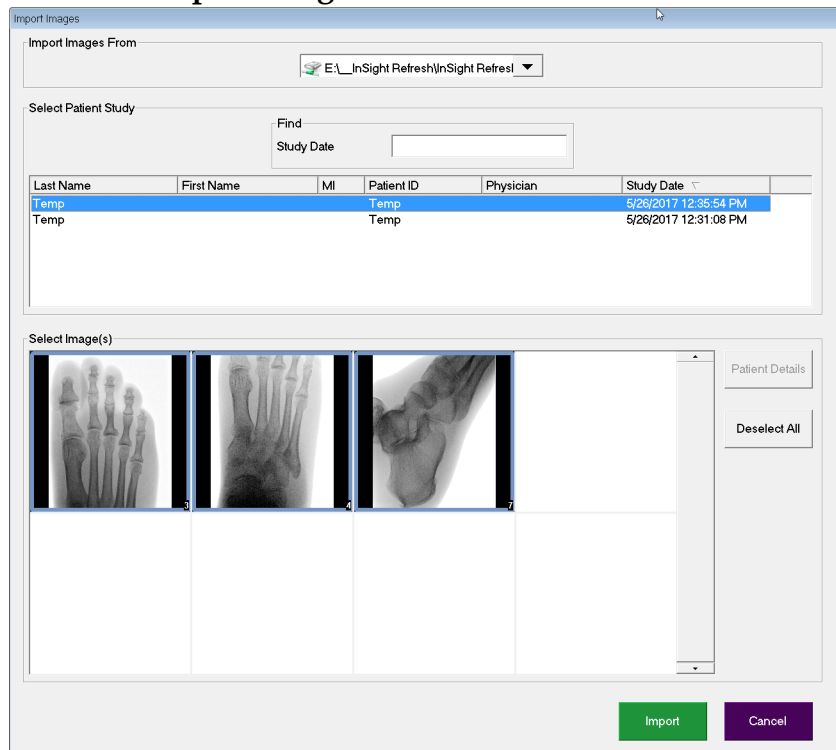


表 49 [Import] (インポート) ウィンドウ、セクションの説明

セクション	説明
Import Images from (画像のインポート元)	システムから現在利用可能なリムーバブルメディアの選択リストです。[Other Locations] (その他の場所) を使用すると、ユーザーはシステムまたはネットワーク上のフォルダを検索できます。
Select Patient Study (患者の検査を選択)	選択したメディア上のすべての患者 / 検査レコードの選択リスト、および検索条件セクション (検索) です。各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。[Find] (検索) セクションの入力フィールドのラベルが変更され、選択された並び替え列と一致します。複数の検査の選択が可能です。検査を1つ選択した場合、該当の検査のすべての画像が [Select Images] (画像の選択) セクションに表示されます。複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。
Find (検索)	患者 / 検査をすばやく検索するために使用します。
Select Image(s) (画像を選択)	患者 / 検査を <u>1つ</u> 選択した場合、画像が表示されます。複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。選択した患者 / 検査ファイルに含まれるサムネイル画像の選択リストです。選択された画像が強調表示されます。複数の画像を選択できます。[Select All] (すべて選択) または [Deselect All] (すべて選択解除) をクリックすると、すべての画像を選択 / 選択解除できます。

表 50 [Import] (インポート) ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
Patient Details (患者の詳細)	画像を1枚選択した場合のみ有効化されます。患者情報を表示します。
Select All/ Deselect All (すべて選択 / すべて削除)	画像の選択リストですべての画像を選択または選択解除します。
Import (インポート)	選択した画像をシステムにインポートします。
Cancel (キャンセル)	インポートせずにウィンドウを閉じて [Main] (メイン) 画面に戻ります。

## 16.9 ワークリストのエントリ

[Worklist Entry] (ワークリストのエントリ) サーバー接続なしでワークリストの設定ができます

### 16.9.1 オプション 1、[Tools] (ツール) のサブメニュー

1. [Tools] (ツール) を選択します。
2. [Worklist Entry] (ワークリストのエントリ) を選択します。
3. 患者情報を入力します。
4. [Add] (追加) をクリックして患者情報を [Worklist] (ワークリスト) に入力します。

### 16.9.2 オプション 2、[Patient Information] (患者情報) 画面

1. 患者情報を [Patient Information] (患者情報) 画面に入力した後、[Save to Worklist] (ワークリストに保存) を選択します ( 64 ページの [セクション 16.4.1 Select or Enter Patient \(患者の選択または入力\) ウィンドウ](#) )。
2. OK をクリックします。

## 16.10 Delete Images (画像の削除) ウィンドウ

管理者は、[Main] (メイン) 画面の [Tools] (ツール) メニューからアクセスできます。

図 49 Delete Images (画像の削除)

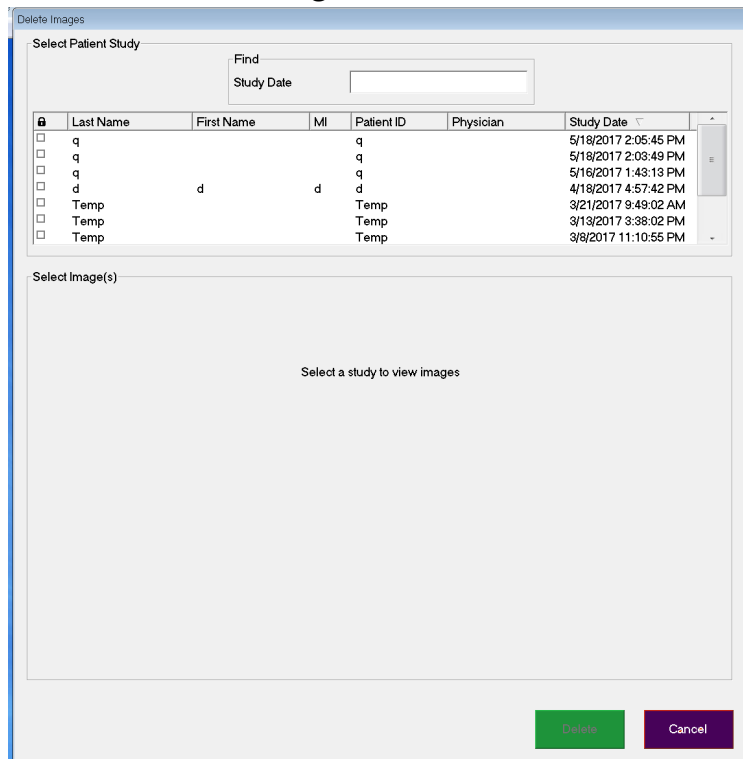


図 50 削除する画像を選択

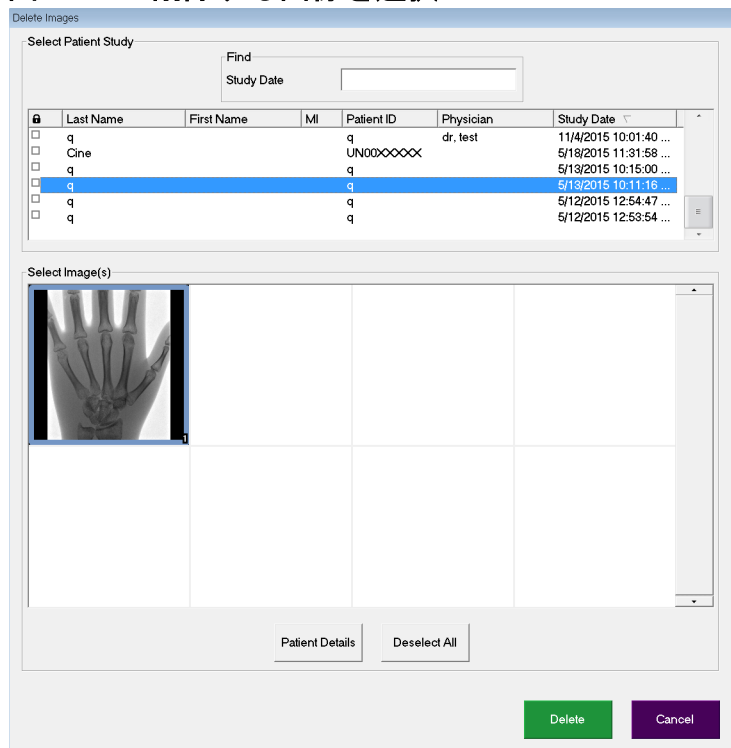


表 51 Delete Images（画像の削除）ウィンドウ、セクションの説明

セクション	説明
Select Patient Study（患者の検査を選択）	システム上のすべての患者 / 検査レコードの選択リスト、および検索条件セクション（[Find]（検索））です。 各列のラベルをクリックすると、任意の列で選択リストを並び替えることができます。[Find]（検索）セクションの入力フィールドのラベルが変更され、選択された並び替え列と一致します。 複数の検査の選択が可能です。検査を1つ選択した場合、該当の検査のすべての画像が [Select Images]（画像の選択）セクションに表示されます。複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。
Find（検索）	患者 / 検査をすばやく検索するために使用します。
Select Image(s)（画像を選択）	患者 / 検査を <u>1つ</u> 選択した場合、画像が表示されます。複数の検査を選択した場合、画像は表示されません。 選択した患者 / 検査ファイルに含まれるサムネイル画像の選択リストです。 選択された画像が強調表示されます。複数の画像を選択できます。 [Select All]（すべて選択）または [Deselect All]（すべて選択解除）をクリックすると、すべての画像を選択 / 選択解除できます。



表 52 Delete Images（画像の削除）ウィンドウ、ボタンの機能

ボタン	機能
Patient Details (患者の詳細)	画像を 1 枚選択した場合のみ有効化されます。 患者情報を表示します。
Select All/ Deselect All (す べて選択 / すべて 削除)	画像の選択リストですべての画像を選択または選択解除します。
Delete (削除)	画像選択リストで選択した画像を InSight-FD システムから削除します。複数の検査が選択された場合、各検査のすべての画像が削除されます。システム設定の [Query on Delete] (削除時の質問) を有効化している場合、ユーザーは削除の確認を求められます。[Yes] (はい) をクリックして削除を確認し、[No] (いいえ) をクリックすると削除をキャンセルします。
Cancel (キャン セル)	画像を削除せずにウィンドウを閉じて [Main] (メイン) 画面に戻ります。

## 16.11 View DICOM Queue (DICOM キューの表示) ウィンドウ

[Tools] (ツール) メニューから、および [Review Images] (画像のレビュー) 画面からアクセスできます。

図 51 View DICOM Queue (DICOM キューの表示)

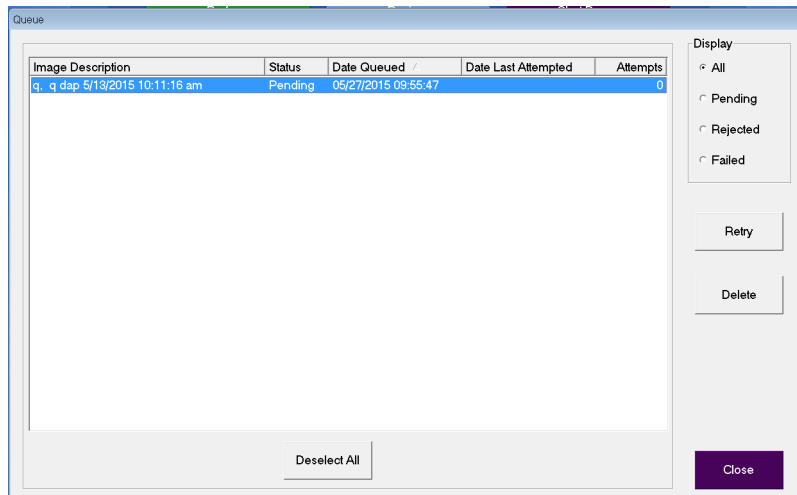


表 53 Queue (キュー) ウィンドウ、セクションの説明、ボタンの機能

セクション / ボタン	説明 / 機能
DICOM Queue List (DICOM キューリスト)	キューの要求情報の選択リストで、フィルタリングが可能です。
Display (表示)	選択したラジオボタンに応じて選択リストをフィルタリングします。
Select All/ Deselect All (すべて選択 / すべて削除)	[Queue] (キュー) リストにあるすべての DICOM 要求を選択、または選択解除します。
Delete (削除)	選択した DICOM 要求を削除します。
Retry (再試行)	システムが、選択した DICOM 要求の再送信を試みます。
OK	[Queue] (キュー) ウィンドウを閉じて前の画面に戻ります ([Main] (メイン) 画面または [Review Images] (画像のレビュー) 画面)。

## 17 システムのメンテナンス

### 17.1 システムバックアップ

すべてのユーザーは、[Main]（メイン）画面の [Tools]（ツール）メニューから [System Backup]（システムバックアップ）を選択して、システム設定およびキャリブレーションデータを選択したリムーバブルメディアデバイスにバックアップできます。

### 17.2 システム復旧

管理者は、[Main]（メイン）画面の [Tools]（ツール）メニューから [System Recover]（システム復旧）を選択して、システム設定およびキャリブレーションデータを選択したリムーバブルメディアデバイスから復旧できます。

### 17.3 クリーニング

InSight-FD ミニ C アームの表面は、1 週間に 1 回、および表面が汚れた後すぐに清掃してください。キャビネット、フレックスアーム、C アームの表面は、柔らかい布か使い捨ての lint free のティッシュを、水、イソプロパノール、またはメタノールで湿らせて拭きます。10% の漂白液を使用して殺菌します。表面をこすらず、軽く拭きます。モニターのタッチ画面の清掃には、市販の眼鏡クリーナーを使用することができます。



**警告：** 装置を AC 電源から切断してから、システムにクリーナーや消毒剤を使用します。

#### 17.3.1 推奨される消毒剤

表 54 推奨されるウエス

クリーナー
PDI Super Sani-Cloth Germicidal Disposable Wipes
PDI Sani-Cloth plus Germicidal Disposable Cloth

表 55 推奨される化学物質

主成分のタイプ	代表的な商品
塩素系（最大 10% の溶剤）	Clorox、Novalsan
ホルムアルデヒド系	ホルムアルデヒド溶剤 37%、Vinco Formaldegen
グルタルアルデヒド系	Aldacide 200、Lysofume、Wavicide
フェノール類	Lysol I.C.、Beaucoup、Magna Clean、Tek-Trol
アルコール系	Cavicide、イソプロピルアルコール、Medicide
酸化剤	過酸化水素水 3% 溶液、Lifeguard シリーズ
第四級アンモニウム系	Roccal-D、Bacto-Sep、Parvosol
石鹼と水	

## 17.4 予防保守

Hologic では、認定を受けたサービス員による予防保守を最低年 1 回実施することを推奨しています。

## 17.5 トラブルシューティング

お使いの装置の適切な操作に関してサポートが必要な場合は、Hologic カスタマーサポートまでお問い合わせください。

フリーダイヤル（米国）：+1.800.321.4659

Email: [SkeletalHealth.Support@hologic.com](mailto:SkeletalHealth.Support@hologic.com)

ヨーロッパ、南米、アジアのお客様は、現地の販売代理店または取扱店にお問い合わせください。

## 17.6 廃棄



廃電気・電子製品（WEEE）に関する  
欧州連合（EU）指令 2002/96/EC に準拠して廃棄されるべき機器。



# HOLOGIC®



Hologic, Inc.  
36 Apple Ridge Road  
Danbury, CT 06810 USA  
1-800-447-1856

## ブラジルの連絡窓口

Imex Medical Group do Brasil  
Rua das Embaúbas, 601  
Fazenda Santo Antônio  
São José/SC  
88104-561 Brasil  
+55 48 3251 8800  
[www.imexmedicalgroup.com.br](http://www.imexmedicalgroup.com.br)



Hologic BV  
Da Vincilaan 5  
1930 Zaventem  
Belgium  
Tel: +32 2 711 46 80  
Fax: +32 2 725 20 87

CE  
2797